平成 24 年度

定期総会

特定非営利活動法人
ローズリングかのや

とき：平成 24 年 6 月 10 日 (日)　１５：００～
場所：県民健康プラザ健康増進センター健康科学教室

平成２４年度定期総会開催挨拶

「自立のみちを探る」

昨年は、かのやばら園始まって以来のバラの生育不良により３ヶ月の閉園を余儀なくされました。一昨年の口蹄疫によるばら祭り中止と２年連続の痛手を被り、会員の皆様をはじめ多くの方々から、今後を心配するお声がたくさん寄せられましたが、ご存じのように、当法人のアドバイザーであるデービッドバークレーさんのバラに対する強い想いが、英国のデービッドオースティン社を動かし、旧ばら園がイングリッシュローズガーデンとして見事に甦りました。本格的にはまだ３年ほどの期間を要しますが、たくさんの来園者を楽しませてくれるものと思います。

さて、本年度は年間事業予算規模が１億円を突破しましたが、これは人材育成支援という比較的大きい事業を行なった結果です。「まちづくりは、ひとづくり」と言うことを良く言われますが、まさにどれだけの人材がその地域にいて、多くの方々を巻き込んだ活動ができるかが、まちづくり成否のかぎだと思います。その視点にたって、今後地域を支えてくれる若者や地域の企業経営者向けに約１年間３００時間に及ぶ経営者オープンセミナーを実施しました。１０年かかると言われる人材教育ですから成果はまだまだこれからですが、これに参加された皆さんが自己成長を遂げられて、地域の柱となって多くの雇用が生まれ、多くの若者が定住し元気な地域作りに貢献して頂けると多いに期待しています。

一方、交流人口の増加に向けて新しい取組みもはじめています。先ほどのイングリッシュローズガーデンは四季を通じて楽しめるガーデンとして管理して行かれると思いますが、それを活かしたイベントや誘客促進にも取組みます。またハウステンボスやイルカランドさんなどをはじめとして、九州館内での観光拠点をつなげた連携コースの設定を行い、PR 活動も本格的な取組みを行なっていきたいと思います。さらに本年度から大隅全域で本格的になってきている修学旅行の受入に伴う農家民泊も本年度は延８００名を越える予定になっています。

このような流入人口の増加に伴い、サービス品質の向上はもちろんですが、何処でも同じようなサービスを提供ができるためには、お互いに資質向上に努めることにも取組むことが必要だと考えています。同時に大隅の観光中核施設としてのかのやばら園のハード整備として、売店の拡充、園内の休憩所の設置など観光施設として必要な設備の充実が望まれ、行政も動きだそうとしていますので、その実行力に多いに期待したいと思います。

北欧の金融、経済危機のリスクが高まる中、日本も決して無関係ではいられません。これからの国の行く末を正確に予測できる人はいないと思いますが、地域への交付金も減少する中、我々自身が自立の道を探らなければ生きていけない時代になったという自覚をもって、民間はもとより行政との協働をさらに深化させていくこと、そしてそのことに当法人の真の役割があるのではないかとの想いを強くもっているところです。今後はさらに会員の拡大を図りながら、できるだけ多くの市民が参加するまちづくりをめざしたいと思います。会員の皆様の一層の奮起とご協力をお願い致します。

特定非営利活動法人ローズリングかのや
理事長　尾曲伸一

特定非営利活動法人ローズリングかのや平成２４年度定期総会

式 次 第

1. 開会の言葉
2. 理事長挨拶　　特定非営利活動法人ローズリングかのや　理事長　尾曲伸一
3. 来賓挨拶　　鹿児島県大隅地域振興局　局長　　秋元　幸壽　様

   鹿屋市　　市長　　嶋田　芳博　様
4. 総会成立宣言
5. 議長及び書記の選任　　議長【宮田研一】書記【吉原隆　】【竹井高志】
6. 議事

   ① 議案第１号　　平成 23 年度事業報告･････････････････････1～21ﾍﾟｰｼﾞ

   ② 議案第２号　　平成 23 年度決算報告・監査報告････・・・22～30ﾍﾟｰｼﾞ

   ③ 議案第３号　　平成 24 年度事業計画･････････････････････31～35ﾍﾟｰｼﾞ

   ④ 議案第４号　　平成 24 年度収支予算･････････････････････37～39ﾍﾟｰｼﾞ

   ⑤ 議案第５号　　役員の退任及び選任に関する件　････････41ﾍﾟｰｼﾞ

   ⑥ 議案第６号　　NPO 法改正に伴う定款変更の件 ････････42～43ﾍﾟｰｼﾞ

   ⑦ 議案第７号　　議事録署名人の選任に関する件

   【　岩元博仁　】【　藤野節子　】

   ⑧ その他事項
7. 議長退任
8. 報告事項

   ① ３ヶ年ビジョンの取り組み経過報告･････････････････････44～45ﾍﾟｰｼﾞ
9. その他
10. 閉会の言葉

議案第１号　平成２３年度事業報告

平成２３年度事業報告

特定非営利活動法人ローズリングかのや

１　事業実施の成果

昨年度は、前年度発生した口蹄疫による地元産業の停滞などを考慮し、より一層地域産業の基盤強化を行うべく、平成２２年度に掲げた３ヶ年ビジョンに則し、以下の（１）～（３）を柱に事業実施致しました。

（１）　年間を通じた「かのやばら園」誘客促進につながる市民参加活動の充実・支援及び産業支援につながる収益事業の充実

（２）　地域の活性化につながる「まちづくり」を担う起業家を育てる人材育成支援事業の実施

（３）　「大隅の元気」をめざし、市民・行政が一体となって進める大隅広域観光ＰＲ事業の具体的な展開と、その取り組みの持続可能なしくみづくり

特に人材育成支援事業に関しては初めての試みとして、全国から招いた講師陣による約300時間の経営者として必要な座学と、地元企業の協力を得ての11ヶ月に及ぶOJT研修を通して、地域産業の担い手となる人材育成に取り組みました。

また、平成21年度から取り組んでまいりました「ばらを活かした誘客促進コーディネート事業」及び「大隅広域体験型観光推進事業」については、最終年度の総仕上げという位置付けで取り組みました。

しかしながら、春のバラシーズン直後に、かのやばら園のバラの生育不良という事態が発生し、秋のバラシーズンを含む夏以降の来園者の激減、さらに大規模植替え作業の為に再び約３ヵ月に亘る「かのやばら園」閉園という事態に直面することになりました。その事に伴い、年度後半は、当法人の活動拠点である「かのやばら園」の運営等について協働パートナーである鹿屋市と協議を重ね、その見直しや再生復活に向けて取り組み、園内の新イングリッシュローズガーデン造りなどの支援を進めてまいりました。

２　事業の実施に関する事項（平成23年4月1日 ～ 平成24年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事　業　内　容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数(人)		支出額
地域振興のための各種催事・研修・会議の企画演出事業 4,369,000 ⇓ 4,374,040	1）ばらの栽培教室（別紙１－表１）	５～翌１月 月１回土曜日	かのやばら園	理事２名委員 20名（修了生）	一般市民	34人	13,715
	2）かのやばら園アカデミー（別紙１－表２）	６～翌５月	かのやばら園他	理事２名委員 ６名（講師）	一般市民	192人	0
	3）ばらいっぱいコンクールの実施及びﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ	５，１１月	かのやばら園及び鹿屋市内外地域	理事３名委員 ６名（協力団体）	一般市民	60人	0
	4）ばらのまちｻﾎﾟｰﾀｰﾚﾍﾞﾙｱｯﾌﾟ支援 ・花＊薔薇＊会活動支援	９～翌２月	かのやばら園	理事３名	花＊薔薇＊会	40人	5,355
	5）研修会・視察等 ・スタッフ研修他 ・会員研修他 ・一般向け研修会他	５～翌３月	かのやばら園及び県内外	理事１０名	会員及び一般市民	200人	0
	6）歳時ごと企画事業の実施（誘客イベント等）	４～翌３月	かのやばら園・県内外	理事１０名	一般市民	300人	0
	7）ばらを活かした誘客促進コーディネート事業（別紙2-①～④）※1 ①ボランティア登録 ②シーズンオフ事業 ③恋人の聖地活用 ④ばら園データベース	４～翌３月	鹿屋・大隅	理事９名	一般市民及び観光客	20万人	4,354,970

地域産業振興のための商品の企画立案・販売事業 33,616,000 ⇓ 35,458,383	1）新商品開発事業 ばらの商品の開発支援	4～翌3月	売店及びカフェ食堂	理事１０名	一般市民及び観光客	3,000人	0
	2）地元農林水産物を使用した加工製品の推奨	4～翌3月	売店	理事１０名	一般市民及び観光客	10万人	888,380
	3）大隅広域体験型観光事業(別紙3-①～③)※2	4～１２月	鹿屋・大隅地域	理事7名	一般市民及び観光客	5,000人	4,511,050
	4）大隅農山漁村ﾂｰﾘｽﾞﾑ推進事業(別紙4-①②)※3	6～翌3月	鹿屋・大隅地域	理事7名	一般市民	4,500人	1,435,287
	5）起業家人材育成支援事業(別紙5-①～③) ※4	4～翌3月	鹿屋・大隅地域	理事5名	一般市民	4,500人	28,623,666
観光施設・スポーツ施設等管理受託事業 53,510,000 ⇓ 49,451,841	1）受付業務 2）売店運営事業 3）カフェ食堂運営事業	4～翌3月	かのやばら園 売店及びカフェ食堂	理事１０名	一般市民及び観光客	10万人	48,212,421 1,239,420
広告・宣伝に関する 企画・立案 制作事業 500,000 ⇓ 296,750	1）　会報の発行	7～１２月	かのやばら園及び鹿屋市内	理事１２名	会員及び一般市民	300人	96,750
	2）　ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会・かのやばら祭りへの参画	4～翌3月	かのやばら園及びかのや市街地	理事6名	一般市民及び観光客	10万人	200,000
	3）誘客・販促事業	4～翌3月	かのやばら園・売店･ｶﾌｪ食堂	理事6名	一般市民観光客	5万人	0
	4）広報・宣伝	4～翌3月	鹿屋市内外	理事5名	一般市民	10万人	0
交流・文化活動の企画・演出事業 50,000 ⇒732,840	1）ばらのオーナー制度※5	4～翌3月	かのやばら園	理事3名	一般市民第2期	150人	7,840
	2)キャンドルナイト※6(別紙6)	5月	かのやばら園	理事8名	一般市民	3千人	725,000
酒類販売事業 1,662,000 ⇒1,215,456	1）酒類の販売に係る事業	4～翌3月	かのやばら園	理事6名	鹿屋市民及び観光客	10万人	1,215,456
その他目的を達成するために必要な事業 170,000 ⇒　0	1）会員増強 ・RRK活動PR等 ・会員イベント等開催 2）産業活性化研修会等	4～翌3月	かのやばら園	理事１６名	鹿屋市民及び観光客	3000人	0

事業費　支出合計額　９１，５２８，３５０円

※1，※2：「ばらを活かした誘客促進コーディネート事業」「大隅広域体験型観光推進事業」の両事業は、「ふるさと雇用再生特別基金事業」として鹿屋市から委託を受け、（別紙２）及び（別紙３）の内容で実施した。

※3：本事業は、鹿児島県大隅地域振興局より委託を受けた「平成23年度おおすみ農山漁村ツーリズム推進事業」として、（別紙４）の内容で実施した。

※4：本事業は、鹿屋市商工振興課を通して委託を受けた「鹿児島県緊急雇用創出事業特例基金事業」として、（別紙５）の内容で実施した。

※5：本事業については、当初23年度下旬に第３期の募集をする予定であったが、かのやばら園内市民ガーデン（オーナーばら園）のよりよい栽培環境を造る為に、平成24年度を休耕年とし、募集活動を見送った。

※6：本事業は、鹿児島県の「九州新幹線開通記念事業」として助成を受け、（別紙６）の内容で実施した。

別紙１

表１　平成 23 年度 第８期ばらの栽培教室　受講生　34 名

修了者(4 回以上出席)34 名　皆勤賞 4 名

	開催月日	講座内容	会場	出席者
第１回	平成 23 年 ５月２１日(土)	開校式 ばらの基礎知識講座 新苗植え付け 講師：ばら園技師	霧島ケ丘公園 旧管理棟２階	31 名
第２回	平成 23 年 ６月１８日(土)	花がら摘み 病害虫防除 台風対策 講師：花＊薔薇＊会	多目的ホール	21 名
第３回	平成 23 年 ７月１６日(土) 13:00～15:00	ガーデニング講座 講師：柴さとみ	多目的ホール	16 名
第４回	平成 23 年 ９月３日（土）	秋の剪定 講師：ばら園技師	多目的ホール	14 名
第５回	平成 23 年 １０月１５日(土)	大苗の植え付け （鉢植え基礎講座） 講師：花＊薔薇＊会	多目的ホール	15 名
第６回	平成 23 年 １２月１７日(土)	つるばら誘引 施肥（寒肥） 講師：花＊薔薇＊会	多目的ホール	16 名
第７回	平成 24 年 １月２１日(土)	接ぎ木 講師：花＊薔薇＊会	多目的ホール	18 名
第８回	平成 24 年 ２月４日(土)	冬の剪定 冬の病害虫予防 閉校式 講師：ばら園技師	多目的ホール	15 名

計 8 回のうち 3 回をかのやばら園技師萩原昭信氏、4 回を花＊薔薇＊会、1 回を柴さとみ氏が講師を担当した。

表２　平成 23 年度かのやばら園アカデミー

講座名	講師名	受講生数	講座回数	延べ人数
クレイアート	河原多美子	6 名	12 回	72 名
トールペイント	寒水真実子	5 名	24 回	120 名

平成23年度受託事業及び交付金申請事業総括実施一覧表

事業名	ばらを活かした誘客促進コーディネート事業【鹿児島県ふるさと雇用再生特別基金事業】 別紙2-①②③④				
発注者	鹿屋市			担当部署	観光振興課
期間	平成23年4月1日	～	平成24年3月31日	当法人担当者	北郷奏美
事業の内容(含む個別事業)				受注額	4,219,000円
1. ボランティア登録制度の構築 2. シーズンオフ時のイベント開催における誘客促進 3. 恋人の聖地ﾈｰﾑﾊﾞﾘｭｰによる若年層の誘客促進 4.「かのやばら園」データベースの作成				精算額	4,354,010円

事業名	大隅広域体験型観光推進事業 【鹿児島県ふるさと雇用再生特別基金事業】 別紙3-①②③				
発注者	鹿屋市			担当者	観光振興課
期間	平成23年4月1日	～	平成24年3月31日	当法人担当者	岩切菜穂子
事業の内容(含む個別事業)				受注額	4,366,000円
①受入れ農家等の発掘と体験指導者の育成 ・ツーリズムプログラム ②総合案内窓口（参加者の問合せ先等） ・かのやばら祭り春及び秋総合案内所設置 ・大隅各地の総合案内所連携推進 ・すんくじらブログを活用した大隅各地の情報発信 ③体験プランの作成、商品化、宣伝、PR ・おおすおみわっぜよかどミニ博覧会 ・単発的イベント実施 ・関係団体や観光業者との商品化に向けた取り組み				精算額	4,511,050円

事業名	おおすみ農山漁村ツーリズム推進事業 別紙4-①②				
発注者	鹿児島県 （大隅地域振興局 ）			担当部署	農政普及課
期間	平成23年6月13日	～	平成24年3月23日	当法人担当者	岩切菜穂子
事業の内容(含む個別事業)				受注額	1,391,000円
1. おおすみ農山漁村ツーリズム推進研修会の開催 ●研修会の開催 2回 ●先進地研修 1回 2. おおすみ農山漁村ツーリズムのPR ●農山漁村ツーリズム統一看板設置 ●Webマップ整備				精算額	1,435,287円

事業名	起業家人材育成支援事業 【平成23年度緊急雇用創出臨時特例基金事業】 別紙5-①②③				
発注者	鹿屋市			担当部署	商工振興課
期間	平成23年4月1日	～		当法人担当者	丸野里美
事業の内容(含む個別事業)				受注額	28,350,000円
1. 座学研修（経営者アカデミーオープンセミナー） 毎週金曜日3時間、土曜日3時間 計：94、282時間 2. 座学研修（事業計画作成定例勉強会） 毎週金曜日3時間 計96回 3. OJT研修 毎週4日間 12ヶ月間				精算額	28,623,666円

事業名	九州新幹線全線開業関連イベント「支援イベント」キャンドルナイトinかのやばら園 別紙6				
支援金交付者	九州新幹線全線開業関連イベント実行委員会			担当部署	鹿児島県観光交流局観光課
期間	平成23年5月13日	～	平成23年5月15日	当法人担当者	北郷
事業の内容(含む個別事業)				交付金額	580,000円
「灯り・花・食」をテーマとした九州新幹線全線開業関連イベントの一つとして、かのやばら園内をペットボトルキャンドルや竹灯ろう、イルミネーションでライトアップし、かのやばら園への誘客と大隅半島への観光客の呼び込みを図る。				精算額	725,000円 ※うち、15万円はばら祭り実行委員会助成 ※ローズリングかのや負担金： 2,827円

別紙２-①

事業名	【ばらを活かした誘客促進コーディネート】鹿屋市ふるさと雇用再生特別事業
業務内容	①ボランティア登録制度の構築
実施事業	ボランティア登録者募集活動・研修会の開催・先進地視察
実施目的	登録者の増強や育成、ボランティア需給の可能性を探り、昨年度から施行している登録制度の機能充実を図る。
実施期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
実施内容	●登録者募集活動 ・かのやばら祭り、ボランティア研修会等での募集案内 ●ボランティア研修会の開催 ①中・高校生を対象にした研修会 平成 23 年 10 月 8 日「中・高校生ボランティア研修会」　…添付資料　4 - 1 ②リニューアルオープンするばら園を学ぶ研修会 平成 24 年 3 月 20 日「イングリッシュローズ研修会」　…添付資料　4 - 2 ●登録者管理システム制作 ・ボランティア登録者の管理や案内送付等をスムーズに行えるよう管理システムを制作した。　…添付資料　4 - 3
事業の成果と今後の課題	1.事業の成果 今年度は登録者管理システム制作を行い、今後の運営をスムーズに行う環境つくりができた。また、研修会の開催により、個人のボランティアへの意識や意欲的な取り組みへの働きかけが出来た。 2.今後の課題 ①登録者の増強 ②ボランティアとニーズのマッチングがスムーズにできる仕組み作り ・ボランティアを必要とするニーズ(場所・団体等)の発掘とその整理 ③ボランティア活動保険への加入制度の仕組み作り

別紙２-②

事業名	【ばらを活かした誘客促進コーディネート】鹿屋市ふるさと雇用再生特別事業
業務内容	②シーズンオフ時のイベント開催による誘客促進
実施業務名	体験講座(全６回)・景観 MAP を作ろう・かのやばら園研修会・新春まつり・地域情報誌での広報活動・かのやばら園ライブラリー
実施目的	かのやばら園での定期的なイベント実施により、閑散期の誘客促進につなげる。
実施期間	平成 23 年８月３日～平成 24 年３月 31 日
実施内容	●体験講座の開催　…添付資料　５-１ ①平成 23 年８月３日・５日・26 日 「夏休み体験工房」 ②平成 23 年８月４日～９月 27 日 「夏の短期カルチャー講座」 ③平成 23 年９月 19 日・24 日 「シルバーウィーク体験工房」 ④平成 23 年 11 月 23 日・12 月 10 日・11 日 「クリスマス手作り体験教室」 ⑤平成 24 年２月２日～２月 25 日 「冬の短期カルチャー講座」 ⑥平成 24 年２月 18 日・19 日・３月３日・４日 「コサージュ作り体験会」 ●平成 23 年８月７日 「ばらのまちかのや　景観マップをつくろう！」　…添付資料　５-２ ●平成 23 年 10 月 18 日 「かのやばら園研修会　鹿児島県観光プロデューサー奈良迫英光氏に聴く景観的かのやばら園の展望」　…添付資料　５-３ ●平成 24 年１月３日 「新春まつり in 霧島ヶ丘公園」　…添付資料　５-４ ●平成 23 年７月～平成 24 年３月 「地域情報誌へのイベント告知掲載」　…添付資料　５-５ ●平成 23 年８月３日～平成 24 年３月 31 日 「かのやばら園ライブラリー」　…添付資料　５-６
事業の成果と今後の課題	1.事業の成果 今年度は、12 月 28 日からのばら園休園に伴い、特に冬のシーズンオフにおける誘客促進の事業の効果が問われるものであった。１月～3 月の休園期間にもかかわらず、体験講座開催による来園者(参加者およびその家族など)を増やすことができたのは、本事業で継続にイベント実施していた結果がでたと言える。 また、景観アドバイザーを招いての研修会で「バラが咲かない時期」の魅力をいかに見出すかが今後の焦点になることを改めて共通認識できたことも、６年目のマンネリ化を打破する良い機会となった。 2.今後の課題 ①広報面のさらなる強化 対象を見極めた効果的な宣伝を行う ②イベントの継続 自主サークルの援助等など、リピーターの増強 ③鹿屋市市民が参加できるイベントの実施 ばら園が地域の核・シンボル(誇れる施設)であることに関心を持ってもらう

別紙２-③

事業名	**【ばらを活かした誘客促進コーディネート】鹿屋市ふるさと雇用再生特別事業**
業務内容	**③恋人の聖地ネームバリューアップによる若年層の誘客促進**
実施業務名	カップル応援デー、イングリッシュローズフェスティバル in 季離宮、キャンドルナイト、カップルチケットデー、クリスマス女子会 in かのやばら園
実施目的	「恋人の聖地」を活かし、カップルが楽しめる企画を実施し、誘客促進につなげる。
実施期間	平成 23 年 5 月 8 日～平成 23 年 12 月 18 日
実施内容	●平成 23 年 5 月 8 日 「カップル応援デー」　…添付資料　6 - 1 ●平成 23 年 5 月 13 日～15 日 「キャンドルナイト in かのやばら園」　…添付資料　6 - 2 ●平成 23 年 5 月 26 日～29 日 「イングリッシュローズフェスティバル in 季離宮」　…添付資料　6 - 3 ●平成 23 年 9 月 18 日・10 月 19 日・12 月 18 日 「毎月 3 日曜日はカップルチケットデー」　…添付資料　6 - 4 ●平成 23 年 12 月 18 日 「クリスマス女子会 in かのやばら園」　…添付資料　6 - 5
事業の成果と今後の課題	1.事業の成果 今年度は、福岡でのキャンペーンや 5 月のキャンドルナイト in かのやばら園の開催と、大きなイベントの実施により、若年層の誘客を行った。特にキャンドルナイトは普段以上にカップルでの来園が多く見られ、夜開園のニーズの高さを実証する結果となった。休園により実施が出来なくなった企画もあったが、周知が行き届かず参加の少ない事業もあり、カップル向けの広報媒体の検討が必要だと分かった。 2.今後の課題 恋人の聖地を活用した関連企画よる若年層の誘客 ①カップルの来園動機につながるローズ絵馬の PR 推進。 ②夜の開園イベントの充実 ③大隅地域でのカップル向けスポットとの連携イベントの模索

別紙２-④

「かのやばら園」データベース作成　業務実施報告書

事業名	【ばらを活かした誘客促進コーディネート】鹿屋市ふるさと雇用再生特別事業
業務内容	④「かのやばら園」データベース作成
実施業務名	植栽品種一覧 WEB サイト制作(かのやばら園植栽図鑑)
実施目的	かのやばら園で活動する関係職員、ボランティアの説明資料となるかのやばら園の植栽データベースを制作し、来園者の質問等に対して的確な回答が出来る体制を整え、質の高いおもてなしを提供できるようにする。製作したデータベースを今後様々な資料の材料として活用できるようにする。
実施期間	平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日
実施内容	●植栽品種一覧 WEB サイト制作 昨年度から整理している植栽品種一覧をもとに、誰でも検索できる WEB サイト(かのやばら園植栽図鑑)が完成。まだ、バラの写真画像がない品種があるが、今後撮影し更新していく。 ・3 月 27 日公開　…URL　：http://zukan.rosering.jp/
事業の成果と今後の課題	1.事業の成果 「かのやばら園植栽図鑑」によって、これまで以上に園内の説明・案内がスムーズに行えるようになった。また、このシステムを活用して植栽管理を徹底させていく基礎ができた。これからは、バラ愛好家達からのホームページの閲覧数が増え、ばら園への誘客につながることを期待する。 2.今後の課題 ①画像や詳細データの更新を行い内容の充実を図る。 ②園内にパソコンを設置し、来園者が自由に閲覧できる環境を作る

別紙３-①

事業名	【大隅広域体験型観光推進事業】鹿屋市ふるさと雇用再生特別基金事業
業務内容	（１）受入農家等の発掘と体験指導者の育成
実施業務名	① 農山漁村ツーリズム先進地研修 ② 農山漁村ツーリズム研修会① ③ 農山漁村ツーリズム研修会②～あなたも出来るツーリズム～
実施目的	実践志向者に対しては、農山漁村ツーリズムに取り組む意義、受入れの質の向上や疑問等を学ぶ事によりスキルアップを行う。また、地域住民へ周知し、農山漁村ツーリズムに関わり、取り組む人々の増加を促すと共に、民泊型教育旅行の受入先増加を促す。
実施事業	① 農山漁村ツーリズム先進地研修の実施　添付資料（１）－① ・開催日　平成２３年９月２７日（火） ② 農山漁村ツーリズム研修会①　添付資料（１）－② ・開催日　平成２３年１１月２９日（火） ③ 農山漁村ツーリズム研修会②～あなたも出来るツーリズム～ ・開催日　平成２４年３月６日（火）　添付資料（１）－③
事業の成果	・実践者のスキルアップ、参加者の多くが受入に対する自信を深められた。 ・大隅内での受入経験者の体験談を取り入れた研修を行ったことにより、これから取り組みを考えているという参加者が、心配事や実際の体験内容等を身近に感じる事が出来た。 ・研修会をきっかけに、自分達の取り組みとして垂水市の受入家庭への見学研修を行った地域もあった。 ・自分達で出来るツーリズムについて知ることにより、関心を持つ方々の増加に繋がった。
今後の課題	**１．大隅各地域の行政が、同じ意識で大隅の教育旅行受入に取り組む** ・農山漁村ツーリズムへの取り組みの一環としての教育旅行受入については、各行政単位での協議会設立が条件となっているが、その認識や意識は各市町により温度差がある。大隅地域が一体となって取り組むためは各市町の行政関係者も一緒に研修する場を設け、その必要性や課題を共有する必要がある。 **２．受入家庭の確保** ・実際の受入時には、日程の合わない受入家庭があることを想定し、余裕をもって受け入れられる登録家庭数を確保しなくてはならない。 **３．地域住民への周知** ・地域全体でのおもてなしを目指し、受入登録家庭だけでなく、その周囲に住んでいる方々にも受入の意味や内容について、理解していただけるように周知の工夫が必要である。（例：定期的な農山漁村ツーリズム新聞の発行）

別紙３-②

事業名	【大隅広域体験型観光推進事業】鹿屋市ふるさと雇用再生特別事業
業務内容	（２）大隅総合案内窓口（参加者の問合せ先等）
実施業務名	①　２０１１春のばらシーズン総合案内所　②２０１１秋のばら祭り総合案内所 ③　大隅観光案内所連絡会
実施目的	・大隅半島の情報一元化や顧客、市場情報を把握し、効果的・効率的な情報発信を行う。 ・大隅内での情報をばら祭り期間にご案内し、顧客のニーズに応えられるようにする。 ・大隅内の案内所との連携を図ることにより、情報の中身まで紹介できるようになる。
実施期間	平成２３年４月～平成２４年３月
実施事業	①　２０１１春のばらシーズン総合案内所　　添付資料（２）-① ・　設置期間　：　平成２３年４月２９日（金）～６月５日(日) ②　２０１１秋のばら祭り総合案内所　　添付資料（２）-② ・　設置期間　：　平成２３年１０月２２日（土）～１１月１３日(日) ③　大隅観光案内所連絡会　　添付資料（２）-③ ・　開催期間　：　平成２３年６月～平成２４年３月
事業の成果	①②総合案内所 ●　自立型のパンフレットスタンドにしたことにより、ガイドブックを選びやすくなった。 ●　目的地でない場所のパンフレットを目に触れるところに置いておく事により他地域にも興味を持ってもらえた。 ●　パンフレット配布により、かのやばら園の後、次回また大隅に訪れる時に利用してもらえるようになった。 ③大隅観光案内所連絡会 ●　定期的に連絡会で顔を合わすことで、お互いの地域の情報交換をしやすくなった。 ●　同じ取り組みや祭り等を行っている地域同士のコラボレーションなど、地域を越えた連携や取り組みのきっかけとなった。
今後の課題	●　ばら園内の案内所においてパンフレットを手に取って貰えるよう、より魅力的なポップの工夫を行う。 ●　ばら園内でゆっくりとくつろいでパンフレットを見る事が出来るスペースの確保。 ●　大隅地域内のどの案内所でも大隅各地の案内ができるような仕組み作り。 ●　大隅各地の情報を、一括で収集できる。

別紙３-③

事業名	【大隅広域体験型観光推進事業】鹿屋市ふるさと雇用再生特別事業
業務内容	（３）体験プランの作成、商品化、宣伝、PR
実施業務名	① おおすみわっぜよかどミニ博覧会 ② 体験・交流型観光ビジネスモデル事業セミナー ③ 商品化に向けたモニターツアー　④プログラム実施支援（稲尾岳トレッキング） ⑤ 大隅を語る会　⑥花巡り視察研修　⑦わくわくすんくじら定例会実施 ⑧ すんくじらブログ
実施目的	・ 大隅各地において、より大隅の特色を活かした体験プログラム開発を行う。 ・ 内容の磨き上げをサポートし、効果的な PR を行う。
実施期間	平成２３年４月～平成２４年３月
実施内容	① おおすみわっぜよかどミニ博覧会　添付資料(３)－① 平成２３年４月２９日実施 ・かのやばら祭り２０１１春の開催イベントとして実施。わくわくすんくじらメンバーより体験、食販売等１１カ所の出店があった。 ② 体験・交流型観光ビジネスモデル事業セミナー　添付資料（３）－② 平成２３年１１月１５日（火） ・大隅内でのプログラム３つを福岡の旅行エージェントへ向けて紹介を行った。 ③ 商品化に向けたモニターツアー　添付資料（３）－③ 平成２３年６月～平成２３年１０月３１日（月） ・九州内の旅行エージェントへ声掛けを行い、大隅観光ルートの提案を行うツアーを実施した。 ④ プログラム実施支援（稲尾岳トレッキング）　添付資料（３）－④ 平成２３年１２月４日実施 ・わくわくすんくじらより、個人での実施を行うと報告のあった『松元辰朗』さんのプログラム【ひと味違う稲尾岳トレッキング】の開催を事務局として支援を行った。 ⑤ 大隅を語る会　添付資料（３）－⑤ 平成２４年２月４日（土）実施 ・大隅内の歴史、自然、郷土料理等に詳しい方々にお集まりいただき会合を開催した。 ⑥ 花巡り視察研修　添付資料（３）－⑥ 平成２４年２月２７日（月）～２８日（火） ・花をテーマとした施設での視察研修を行い、大隅での活性化に活かせるヒントを得る。 ⑦ わくわくすんくじら定例会実施　添付資料（３）－⑦ 平成２３年４月～平成２４年３月 ⑧ すんくじらブログ　添付資料（３）－⑧ 平成２３年４月～平成２４年３月

別紙３-③

事業の成果	● ばら祭りのイベントとしてミニ博覧会を実施や「稲尾岳トレッキング」プログラムの実施支援を通して、自主的、積極的に取り組もうとうするプログラムの磨き上げ及び、PR を図ることができた。 ● 県の『体験、交流型観光プログラム商品化事業』への参加やモニターツアー及び、視察研修を通して、県内外の旅行エージェントや花関連の施設との交流ができたことで、外から見た「大隅の特色」をいう視点を持ってのプログラム開発に繋がった。
今後の課題	●ばら祭りで大隅をＰＲするイベントを定着させ、県外からのお客様へのＰＲを行う。また、大隅内の大きなイベントではその地域だけでなく、大隅全域の情報案内を行えるようにする。 ●ばら園からのルート『大隅花街道』季節ごとの花で繋ぐルートの提案を行う。 ●平成２３年度に繋がりのできた県内外旅行エージェントや他地域の施設等と、継続的に連携した体験プログラムのレベルアップと、それを組み合わせたルートの提案と PR。 ●自主的、積極的に地域の特色を活かしたプログラムを開発、実施していこうとする人材の把握と連携体制の強化。

別紙４-①

事業名	おおすみ農山漁村ツーリズム推進事業
委託業務	(1)おおすみ農山漁村ツーリズム推進研修会の開催
実施目的	●実践志向者に対しては、農山漁村ツーリズムに取り組む意義、受入れの質の向上や疑問等を学ぶ事によりスキルアップを行う。また、地域住民へ周知し、農山漁村ツーリズムに関わり、取り組む人々の増加を促すと共に、民泊型教育旅行の受入先増加を促す。
実施内容	ア：農山漁村ツーリズム研修会①の開催 ・大隅地域振興局農政普及課と連携・企画し、１１月に実施した。 ※添付資料（１）－ア：大隅農山漁村ツーリズム研修会① イ：農山漁村ツーリズム研修会②の開催 ・大隅地域振興局農政普及課と連携・企画し、３月に実施した。 ※添付資料（１）－イ：大隅農山漁村ツーリズム研修会② ～あなたもできるツーリズム～ ウ：農山漁村ツーリズム先進地研修の実施 ・大隅地域振興局農政普及課と連携・企画し、９月に実施した。 ※添付資料（１）－ウ：大隅農山漁村ツーリズム研修会
業務の経過	７月　✧大隅地域振興局農政普及課農業振興第２係と研修会開催計画打ち合わせ。 ９月　✧農山漁村ツーリズム先進地研修（垂水市）実施。 １１月　✧農山漁村ツーリズム研修会①実施。 ３月　✧農山漁村ツーリズム研修会②（錦江町）実施。
業務実施による成果	**１．実践者のスキルアップ、受入れへ自信を持つ事が出来た。** ・大隅内での受入経験者の体験談を取り入れた研修を行ったことにより、これから取り組みを考えているという参加者が、心配事や実際の体験内容等を身近に感じる事が出来た。 ・研修会をきっかけに、自分達の取り組みとして垂水市の受入家庭への見学研修を行った地域もあった。 ・自分達で出来るツーリズムについて知ることにより、関心を持つ方々の増加に繋がった。
課題の整理	**１．大隅各地域の行政が、同じ意識で大隅の教育旅行受入に取り組む。** ・農山漁村ツーリズムへの取り組みを各市町村で行っているが、教育旅行受入に向けての意識は温度差や認識の違いがあるので、一緒になって取り組むにあたっては、各地の行政と民間の意識を合わせる必要がある。 **２．受入家庭の確保。** ・実際の受入時には、都合が悪かったりして受入が出来ない家庭もあるので余裕をもって受け入れられる件数を確保しなくてはならない。 **３．地域住民への周知。** ・地域全体でのおもてなしを目指し、受入登録家庭だけでなく、その周囲に住んでいる方々にも受入の意味や内容について、理解していただけるように周知を行っていく。

別紙４-②

事業名	おおすみ農山漁村ツーリズム推進事業
委託業務	（２）おおすみ農山漁村ツーリズムのPR
実施目的	●農山漁村ツーリズムを実施している個所へ統一の看板を設置し、農山漁村ツーリズムのPRを行う。
実施内容	ア：おおすみ農山漁村ツーリズム看板設置 ・２０件の看板設置の募集を行った。 イ：おおすみ農山漁村ツーリズムの情報発信 ・NPO法人ローズリングかのやのHPで、看板設置個所の ① Webマップ上での紹介　②各箇所の詳細説明の掲載を行った。
業務の経過	６月　✧看板設置者へ詳細内容聞き取り。 ７月　✧Webマップ作成業者と打ち合わせ。 ７月　✧看板設置募集開始。 １０月　✧ローズリングかのやHPにて掲載開始。 １１月　✧前期１０件作成し、配布。後期１０件募集。 ３月　✧後期１０件作成し、配布。 ３月　✧報告書作成。
業務実施による成果	**ア．農山漁村ツーリズムに関わる場所の開拓ができた。** ・昨年度設置の少なかった地域へ声掛けを行う事で、新しく関わった方との繋がりが増えた。 ・看板を配達する事で直接顔を合わせ、知る事ができた。 ・この推進事業を知ってもらえる機会ができた。 **イ．Webマップ開設した事で、広く周知できる機会が増えた。** ・大隅の農山漁村ツーリズムの情報を求めている方が、このページを見ると情報を知ることが出来るようになった。 ・Webマップを通して、看板設置した方々が他の看板設置場所を知る事が出来る。 ・Webマップ上からで、大隅の農山漁村ツーリズムに関わる場所を検索できるようになった。 ・各ジャンルから検索する事が出来、詳細がわかるようになった。
課題の整理	**ア．設置する側、見る側への周知。** ・ツーリズムに関わる方々もまだ、この看板について知らない方が多いので行政を巻き込んでの周知に努めると良いかと思う。 ・看板の存在を知らない方も気に留めて貰えるようもっと数を増やした方が良いと考える。 **イ．　HPを多くの方に見てもらえるよう工夫する。** ・他のツーリズム関連のHPとリンクできるようにする。

別紙５-①

事業名	**起業家人材育成支援事業**（鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業）
業務内容	**座学研修（１）経営知識とスキルアップ研修事業**
実施業務名	経営者アカデミーオープンセミナーの実施
実施目的	地域産業の担い手を目指す研修生が、企業経営者として必要とされる基礎的知識、専門スキルや組織運営及びプロジェクトマネジメント等に関する専門教材及び講師教材を活用したセミナー受講を通して学ぶ。 オープンセミナーという形式で実施することにより、地元の経営者を含む「学びたい」方々に学ぶ場を提供し、地域産業のレベルアップに寄与する。
実施時期	平成２３年４月１５日～平成２４年３月１６日
実施場所	風呂井会計事務所　研修室　　：鹿屋市田崎町
実施内容、経過	１）経営者アカデミーオープンセミナー開講式　　平成23年4月15日 ・開講式実施報告　　添付資料「開講式報告書」参照 ・事業概要説明 ・年間スケジュール紹介　　添付資料「年間ｽｹｼﾞｭｰﾙ」参照 ・講師について　　添付資料「講師ﾌﾟﾛﾌｨｰﾙ」参照 ２）セミナー開催　　平成23年4月15日～平成24年3月16日 ・開催日時：毎週金曜日　19時～22時（3時間） 毎週土曜日　9時～12時（3時間） ・内容：計画に従い全過程実施：全94講座　282時間　毎週実施（年末除く） 添付資料「座学研修報告書」参照 添付資料「研修生報告書」の「座学研修報告書」参照 ３）経営者アカデミーオープンセミナー閉講式　　平成24年3月16日 ・閉講式実施報告　　添付資料「閉講式報告書」参照 ・事業概要報告 ・セミナー優良出席者発表　　添付資料「ｾﾐﾅｰ出席表」　参照 ・研修生事業計画書発表 添付資料「研修生報告書」の「座学研修報告書」参照
事業の成果	○県内外から迎えた全国レベルの21人の講師陣の中に一人のメイン講師を位置づけ、定期的に系統立てた指導を受ける方式で実施したことで、基礎的知識、専門スキル、組織運営及びプロジェクトマネジメントに関する幅広い分野でありながら、系統的な学びの場となり、最終的には研修生の事業計画書作成に反映された。 ○オープンセミナーとして実施したことで、地元鹿屋市だけでなく、近隣市町からも受講生が集まり、後半は出席率が大幅に下がったものの、経営に関する本格的な学びの場を提供する事ができた。
今後の課題	１．各講義内容を参考に、今後も地元経営者が自社の発展及び地元活性化の為に、自ら学ぶ研修の場を継続的に提供すること。 ２．自ら受講登録した参加者リストを活かした今後の地域企業と講師陣の連携による課題解決や市場開拓などに結び付けることが必要と考える。

事業名	**起業家人材育成支援事業**（鹿児島県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業）
業務内容	**座学研修（２）企業経営における経営知識の活用研修事業**
実施業務名	事業計画作成定例勉強会「金曜ミーティング」の実施
実施目的	地域産業の担い手を目指す研修生が、座学（１）「経営者アカデミーオープンセミナー」で学んだ知識・スキル・考え方や、OJT 研修における実務体験を、定期ミーティングで発表・共有し、企業経営経験者による指導を受けることで、実現可能な事業計画の作成をめざす。
実施時期	平成２３年４月２２日～平成２４年３月３０日
実施場所	事業計画作成勉強会用事務所「王子町事務所」　：鹿屋市王子町
実施内容、経過	金曜ミーティング開催 ・開催日時：毎週金曜日　9時～12時（3時間） ・指導者：　尾曲伸一（NPO法人ローズリングかのや理事長） 「株式会社クリエート」の創業者及び元代表取締役社長 ・開催内容： １）座学研修報告書による理解の確認作業・指導 ２）OJT先研修成果報告と事業計画への応用指導 ３）事業計画作成に当っての視点、現場適用の方法等の指導 ４）その他経営全般の人事・労務等リスク管理等 添付資料「研修生報告書」の「作業日報」参照 ・議事録作成 議事録担当者を交替しながら、文書作成スキルも磨く。 添付資料「座学実施報告書１」の議事録　参照
事業の成果	○各々異なるOJT受入先の研修生が、定期的に集まり、夫々の課題や悩み、アイディアなどを出し合い、指導者によるアドバイス等を受ける事で、様々なケースに関する経験や考え方を共有する事につながった。 ○オープンセミナーやOJT研修で学んだ事を基に、事業計画作成に活かす作業を一緒に進め、指導を受ける事で、知識や経験を自分の計画に落し込む上での様々なプロセスでの学びを共有する事につながった。
今後の課題	地域産業の担い手を目指す為に本事業に参加した研修生同士が協力して学んだ経験を基に、今後地元での起業展開をするにあたって連携関係を継続し、地域活性化のリーダー的役割を果たしていけるための定期的なフォローアップが必要であると考える。

別紙５-③

事業名	**起業家人材育成支援事業**（緊急雇用創出事業臨時特例基金事業）
業務内容	**0JT研修事業**
実施業務名	地元企業及びNPO法人による実務研修
実施目的	地域産業の担い手を目指す研修生が、各企業現場の実務を体験することで、企業経営全般における部門の役割や活動の実態を学ぶと共に、座学で得た知識を実際の現場で活用することを通して企業経営のスキルアップを図る。
実施時期	平成２３年４月１５日～平成２４年３月３１日
実施場所 受入企業	㋐有限会社　クリエイトファーム　：鹿屋市大浦町 ㋑アネット　有限会社　：鹿屋市東原町 ㋒ベルキャンバス　株式会社　：鹿屋市大浦町 ㋓杵屋モンドール　：鹿屋市北田町 ㋔NPO法人ローズリングかのや　：鹿屋市浜田町 添付資料「受入企業プロフィール」参照
実施内容、 経過	<u>１）0JT研修説明会</u>　平成23年4月18日 ・研修生と受入先企業顔合わせ（自己紹介） ・0JT実施要領書　添付資料「実施要領」参照 ・誓約書及び契約書作成 <u>２）0JT研修</u>　平成23年4月18日～平成24年3月15日 ・各々の受入先企業にて、各部門現場の実務を通した体験研修 添付資料「研修生報告書」の「0JT日報」参照 <u>３）0JT研修受入先定期巡回</u>　平成23年4月18日～平成24年3月15日 ・各々の受入先企業を定期的（毎月2回）に訪問し、研修の様子などヒアリングをし、効果的な研修の遂行を図る。 添付資料「巡回記録」参照
事業の 成果	○座学研修における研修生の質問やアイディア提案が、0JT研修としての実務を踏まえた上での具体的な内容になってきた。 ○各受入先の代表及び担当者より、本研修受入を通して、自社の経営についての見直しや自社社員の意識向上につながったとの感想をいただき、実際に研修生を巻き込んだ新たな企画も見受けられた。 ○0JT研修受入先定期巡回により、地元企業経営者とその経営の課題や可能性を語り合う場が生まれ、本事業終了後の連携につながる機会となった。
今後の 課題	１．各受入先での0JT研修を通して築かれた研修生と企業とのつながりを継続的にフォローアップし、地域活性化のネットワーク構築が求められる ２．地域産業経営における共通課題を浮き彫りにし、行政と一体となった課題解決に取り組む為にも、0JT研修における成果としての「受入先企業の経営見直しやレベルアップ」という観点に立った事業を今後も継続する必要がある。

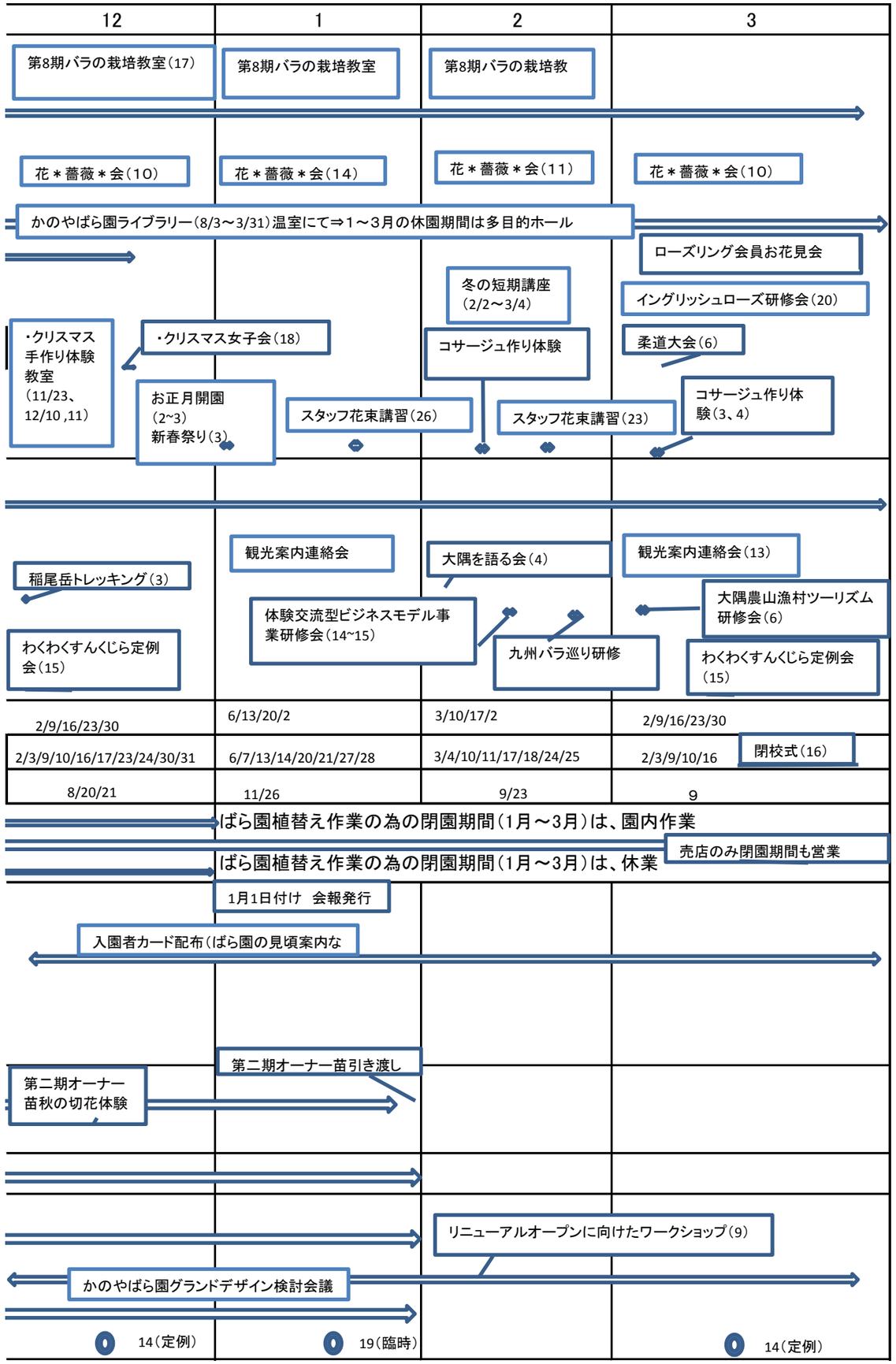
事 業 名	九州新幹線全線開業関連イベント「支援イベント」
実施事業	キャンドルナイト in かのやばら園
実施目的	「灯り・花・食」をテーマとした九州新幹線全線開業関連イベントの一つとして、かのやばら園内をペットボトルキャンドルや竹灯ろう、イルミネーションでライトアップし、かのやばら園への誘客と大隅半島への観光客の呼び込みを図る。
実施時期	平成 23 年 5 月 13 日(金)・14 日(土)・15 日(日)　　18:30～21:00　15 日のみ～20:30
実施場所	かのやばら園　(鹿児島県鹿屋市浜田町 1250 番地)
主　　催	特定非営利活動法人ローズリングかのや
共　　催	かのやばら祭り実行委員会・社団法人鹿屋青年会議所
後　　援	九州新幹線全線開業関連イベント実行委員会
協　　力	財団法人鹿児島県環境技術協会・お釈迦まつり実行委員会
実施内容	【市民団体キャンドルアート】 園内にいくつかの展示エリアを設け、ペットボトルや竹灯ろう、イルミネーションを使って各団体が、趣向を凝らしたキャンドルアートを製作、設置した。 ①大隅はんどくらふと協会 手工芸作品で九州新幹線とばらのまち“かのや”を表現。 ハート型配置したペットボトルと共に、格好の撮影スポットになった。 ②チームたかくま 高隈地区の竹を使った竹灯ろう作品を展示。東日本大震災へのメッセージを込めた作品やカップル向けのベンチも用意された。 ③鹿屋小学校 5 年生 地元の小学生の力作。子どもたちで自らデザインを考え、かわいいイルカをペットボトルで表現。躍動感ある作品に仕上がった。 ④花＊薔薇＊会 ばら園を支えるバラ愛好家の皆さんは、1 輪のバラをペットボトルで表現。ツリー型のイルミネーションも好評だった。 ⑤アースデイかのや 希望と光のオブジェと題された作品は、空き缶を使った作品。空き缶に穴を開けることで、模様が浮かび上がる仕組み。5 月 7 日(土)に開催されたアースデイのイベントの際に、市民に製作を協力してもらっている。震災復興の願いなど、たくさんの想いがこもった作品となった。 ⑥札元商工親睦会青年部 地元の将来を担う若手チームは、ハートをメインにした作品を製作。壁を活用し、空間を活かした作品になった。 ⑦かのや♥ばら婚チーム 5 月 14 日(土)は、社団法人鹿屋青年会議所主催の「かのや♥ばら婚」と題した、婚活イベントが同時開催された。 【その他のキャンドル演出】 ①ローズチャペルのイルミネーションは、リナシティかのや周辺のイルミネーションを毎年している「まっのなか元気隊」より借用。 ②通路にはペットボトルキャンドルを並べた。配置と着火作業には、鹿屋商工会議所青年部の皆さんのボランティア協力を得て行った。 ③エントランスには、財団法人鹿児島県環境技術協会よりキャンドルホルダーを借用し、

	鹿屋のシンボル“ばらら”ちゃんを描いた。特に、鹿屋農業高校からの高校生ボランティアに協力をもらい設置できた。 ④カラーガーデンに志布志お釈迦まつりより借用した竹灯ろうを並べた。 【野外コンサート】 カラーガーデンの特設ステージでのコンサート。 ●14 日(土) 鹿児島国際大学国際文化学部音楽学部・短期大学部音楽科学生 30 名による、オペラ“魔笛”ハイライトコンサート。ステージとはまた違う演出で、会場が大いに盛り上がった。 ●15 日(日) ①Wish バンド…鹿屋市を中心に活動しているアマチュアバンドの演奏。J-pop などおなじみの曲を演奏。カップル等若者に好評だった。 ②ジミー入枝…かのやばら祭りでもおなじみのドゥーワップ歌手。トークも冴え、子どもから大人まで楽しめるコンサートとなった。 【地元特産品を使った食事の販売】 出店とローズダイナーにて軽食販売を行った。連日、準備数完売で盛況だった。 ●13 日(金)　ローズダイナー ●14 日(土)　ローズダイナー 鹿屋商工会議所女性会…特製ロールサンド(3 本)　500 円 おおすみスローフード…焼芋・落花生・生姜紅茶　他　各 100 円 海江’s …カンパチバーガー　300 円 鹿屋市漁業協同組合…カンパチ押し寿司　600 円 ●15 日(日)　ローズダイナー 海江’s …カンパチバーガー　300 円 鹿屋市漁業協同組合…カンパチ押し寿司　600 円
実　　績	●来　園　者　数…13 日 - 308 名、14 日 - 約 1400 名、15 日 - 約 950 名　合計 2,658 名 (日中からの再入園を含めると 3,000 名を超える) ●ボランティア人数…3 日間延べ数 85 名(1 日平均 28 名) ●参　加　団　体…アート団体 7 団体・飲食団体 5 団体・協力団体 3 団体 ●報　道　関　係…リビング新聞国分隼人版掲載、無料雑誌 BIG WAVE 掲載(5 月号)、NHK かごしま(5 月 13 日放送情報 WAVE かごしま)、MBC(5 月 10 日放送ズバッとかごしま)、KYT(5 月 13 日放送ニュースエブリィ)、KTS(5 月 6 日放送大隅フラッシュ)、KKB、南日本新聞(5 月 14 日付朝刊)、MBC ラジオ(5 月 14 日放送二見いすずの土曜の朝は)、おおすみ FM ネットワーク(5 月 9 日放送おはようラジオ)
反 省 点	【準備】 ・人の流れや照明具合、散策エリア仕切りのシミュレーションが足りなかった。また、全体的に人員不足であった。 ・チラシの文字が分かりにくかった。良く見ないと分からない。 ◎役割分担や各担当者、作業工程表、詳細事項を確認して、スタッフ間で共有できるようにする。 【キャンドル・照明】 ・アート団体は、それぞれ特徴があって良かった。 ・イルミネーションがチカチカしすぎていて、雰囲気が損なわれていた。 ・足元照らす照明、バラを照らす照明が少なかった。 ◎キャンドルゾーン、ライトアップゾーン等のエリア分けや組み合わせる工夫が必要。

	【軽食】 ・価格も良い、メニューも良い、食べながら散策できる丁度よい内容だった。しかし、せっかくの軽食がすぐに売り切れてしまっていた。 ・1 業者 1 テント分のスペースが欲しかった。販売スペースが狭く、お客様の動きが悪くなってしまった。 ◎出店ブース場所の考慮が必要。(身障者駐車場やオリンピックロード、園内) ◎軽食販売に関する保健所の許可に関しては、主催側でするか、出店側でするかは、協議する必要がある。 【コンサート】 ・オペラ上演中、観客が舞台を横切ったりして見苦しかったという、苦情があった。 ◎カラーガーデンをステージにするなら、5～6 人のバンド程度が丁度よいのではないか。 【ばら婚】 ・35 組中 17 組のカップルが成立した。評判も良かった。 ・予想以上にお客様が多く、告白タイムを園内で出来なかった。 【全体】 ・3 日間、天気も恵まれ無事に開催できて良かった。 ・外からの評価も良く、いろんな意味でのばら園の“可能性”を広げることができたイベントだった。ばら祭りのマンネリ化を打開する、新しい取り組みの礎になった。 ・ばら祭りのイベントの良いアクセントになった。 ・2 日目は、受付対応が不足し(チケット切り・再入園・障害者手帳確認)、チラシが足りず、券売機にも列ができてしまった。 ・南日本新聞の 1 面に掲載されたことは、大きな宣伝効果となった。加えて、満開時期、ばら祭り、キャンドル、震災支援という要素が重なって 3000 人超えの来園者数につながった。 ・次はいつやりますか？21 時まで開いていますか？等、終わってからもお問合せなど、次回を期待する声があった。お客様の需要があると言える。 【次回に向けて】 ◎今回は、助成金があってこそできたと言えるので、今後の開催については、キャンドルナイト実行委員会・ばら祭り実行委員会と合わせて協議していくべき。 ◎今回、3000 人という集客があったので、次回は、労力は少なく効果は同じように出来るやり方の工夫が必要。 ◎今回の反省を活かした具体的な対策を行い、組織的な計画が立てられる様にする。
事業の成果	来園者目標 1,000 人としていたが、宣伝・報道効果もあり 3 日間で 3,000 名以上の来園があった。天気も恵まれ、県外からのお客様も多かった。特に、昼間の入園者に比べ、カメラマンやカップルの割合が多く、来園者の幅を広げることができた。「灯」・「花」・「食」の 3 つテーマを地元団体の協力を得て、実現でき、多くお客様に感動を与えられ、今後のかのやばら園の誘客の可能性を見出せたことに大きな成果があった。準備・運営において、スムーズに出来なかった部分・人員不足・シミュレーション不足など反省面も多くあり、今後のイベント実施に活かせるよう改善が見つかった。

平成23年度　ローズリングかのや事業概要カレンダー

事業名	事業内容	4	5	6	7	8	9	10	11
地域振興のための各種催事・研修・会議の企画演出事業	1）ばらの栽培教室 2）かのやばら園アカデミー 3）ばらいっぱいコンクール 4）ばらのまちｻﾎﾟｰﾀｰ支援	第8期バラの栽培教室 花＊薔薇＊会(9)	第8期バラの栽培教室 花＊薔薇＊会寄せ植え(7)	第8期バラの栽培教室 花＊薔薇＊会(11)	第8期バラの栽培教室 花＊薔薇＊会(9)	かのやばら園アカデミー講座 花＊薔薇＊会(5)	第8期バラの栽培教室 花＊薔薇＊会(10)	第8期バラの栽培教室 花＊薔薇＊会(8)	花＊薔薇＊会ばらの寄せ植え体験(5)
	5）研修会・視察等 6）歳時ごと企画事業の実施 7）ばらを活かした誘客促進コーディネート事業					・夏休み短期カルチャー講座　(8/4～9/27) ・ばらのまちかのや　景観 ・特産品フェア試食販売会(13) ・夏休み体験工房(3，5，26)	カップルチケットデー(第3日曜日) ・シルバーウィーク体験工房(19、24)	ボランティア研修会(8) ・かのやばら園研修会　鹿児島県観光プロデューサー奈良迫秀光氏に聴く景観的かのやばら園の展望	
地域産業振興のための商品の企画立案・販売事業	1）新商品開発事業 2）地元農林水産物を使用した加工製品の推奨							農山漁村ツーリズム先進地研修(27)	
	3）大隅広域体験型観光推進事業 4）おおすみ農山漁村ツーリズム推進事業	よかどミニ博覧会(29) わくわくすんくじら定例会	修学旅行受入れ(23~24)	わくわくすんくじら定例会	観光案内連絡会(5) 大隅の魅力向上商品化研修(26~27)	わくわくすんくじら定例会	観光案内連絡会(6) 体験交流型ビジネスモデル事業研修会 わくわくすんくじら定例会	商品化に向けてのモニターツアー(30~31) 修学旅行誘致セールス(21~22)	観光案内連絡会(1) 農山漁村ツーリズム研修会(29)
	5）起業家人材育成支援事業　事業計画作成定例勉強会	2	6/13/20/27	3/10/17/2	1/7/14/21/28	5/12/19/26	2/9/16/23/3	7/14/21/28	4/11/18/2
	経営者ｱｶﾃﾞﾐｰｵｰﾌﾟﾝｾﾐﾅｰ	15/16/22/20/29/3	6/7/13/14/20/21/27/2	3/4/10/11/17/18/24/2	1/2/7/8/14/15/21/22/28/	5/6/12/13/19/20/26/27	2/3/9/10/16/17/23/24/30	7/8/14/15/21/22/28/2	4/5/11/12/18/19/25/26
	OJT受入先巡回	開校式	9/30	21/28/29	12/14/28	9/11/23/25	13/15/29	13/25/27	10/24
観光施設・スポーツ施設等管理受託事業	1）受付業務 2）売店運営事業 3）カフェ食堂運営事業				売店業者意見交換会(1				
広告・宣伝に関する企画・立案制作事業	1）会報発行							10月1日付け　会報発行	
	2）ばら園及び 3）ばら園キャンペーン 4）広報・宣伝	春のばら祭り(4/28~6/5) 鹿児島山形屋キャンペーン(11~13)	ローズフェスタ福岡(26~29)		入園者カード配布(ばら園の見頃案内な	鹿児島空港キャンペー	・熊本キャンペーン	秋のばら祭り(10/23~11/13)	・鹿児島山形屋(10/25~27) ・ドルフィンポート(10/28~29)
交流・文化活動の企画・演出事業	1）ばらのオーナー制度	オーナー園の苗の確認(オーナーへの連絡)・ネームプレートの管理(修理)							
	2）キャンドルナイト	実行委員会開催・準備・片付け作業・反省会	キャンドルナイト(13~15)						
種類販売事業	1）種類の販売					ばら園売店にて通常販売、　ばら園西口でのシーズンのみ販売、鹿児島山形屋での試飲販売など)			
その他目的を達成するために必要な事業	1）会員増強	鹿屋市議会でのRRK説明							
	2）産業活性化研修会等 3）その他　必要な会議等 理事会・総会	20(臨時)	25(臨時)	H23年度定期総会　＆講演会(6/5) 22(定例)		三者会議：　**毎月1回**　鹿屋市観光振興課、ばら園管理事務所、ローズリングの3者が集まり、協議を重ねながら協働事業を進めるという目的	15(定例)		8(臨時)


12
1
2
3
第8期バラの栽培教室（17）
第8期バラの栽培教室
第8期バラの栽培教
花＊薔薇＊会（10）
花＊薔薇＊会（14）
花＊薔薇＊会（11）
花＊薔薇＊会（10）
かのやばら園ライブラリー（8/3～3/31）温室にて⇒1～3月の休園期間は多目的ホール
ローズリング会員お花見会
冬の短期講座
（2/2～3/4）
イングリッシュローズ研修会（20）
・クリスマス
手作り体験
教室
（11/23、
12/10 ,11）
・クリスマス女子会（18）
コサージュ作り体験
柔道大会（6）
お正月開園
（2~3）
新春祭り（3）
スタッフ花束講習（26）
スタッフ花束講習（23）
コサージュ作り体
験（3、4）
観光案内連絡会
大隅を語る会（4）
観光案内連絡会（13）
稲尾岳トレッキング（3）
大隅農山漁村ツーリズム
研修会（6）
体験交流型ビジネスモデル事
業研修会（14~15）
九州バラ巡り研修
わくわくすんくじら定例
会（15）
わくわくすんくじら定例会
（15）
2/9/16/23/30
6/13/20/2
3/10/17/2
2/9/16/23/30
閉校式（16）
2/3/9/10/16/17/23/24/30/31
6/7/13/14/20/21/27/28
3/4/10/11/17/18/24/25
2/3/9/10/16
8/20/21
11/26
9/23
9
ばら園植替え作業の為の閉園期間（1月～3月）は、園内作業
売店のみ閉園期間も営業
ばら園植替え作業の為の閉園期間（1月～3月）は、休業
1月1日付け　会報発行
入園者カード配布（ばら園の見頃案内な
第二期オーナー苗引き渡し
第二期オーナー
苗秋の切花体験
リニューアルオープンに向けたワークショップ（9）
かのやばら園グランドデザイン検討会議
14（定例）
19（臨時）
14（定例）

決 算 報 告 書

自　　平成23年 4月 1日
至　　平成24年 3月31日

特定非営利活動法人　ローズリングかのや
鹿児島県鹿屋市浜田町1250番地

貸借対照表

平成24年 3月31日現在

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

一般会計　　（単位:円）

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	8,999,763		
売掛金	127,920		
棚卸資産	1,079,866		
立替金	28,326		
未収入金	390,000		
流動資産合計		10,625,875	
固定資産			
その他の固定資産			
建物附属設備	28,349		
什器備品	317,208		
その他の固定資産合計	345,557		
固定資産合計		345,557	
資産合計			10,971,432
【負債の部】			
流動負債			
買掛金	860,114		
未払金	1,904,594		
未払費用	4,314,478		
前受金	320,800		
流動負債合計		7,399,986	
固定負債			
長期借入金	8,000,000		
固定負債合計		8,000,000	
負債合計			15,399,986
【正味財産の部】			
正味財産			△ 4,428,554
（うち当期正味財産減少額）			(1,927,740)
負債及び正味財産合計			10,971,432

収　支　計　算　書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

一般会計　　（単位:円）

科目	予算額	決算額	差異	備考
【経常収入の部】				
会費収入	[800,000]	[564,000]	[236,000]	
会費収入	800,000	564,000	236,000	
事業収入	[106,634,860]	[99,064,876]	[7,569,984]	
地域産業振興等収入	(1,000,000)	(1,086,630)	(△ 86,630)	
新商品開発収入	0	50,000	△ 50,000	
地元農林水産物加工品収入	1,000,000	1,036,630	△ 36,630	
売店運営事業収入	(57,100,000)	(49,065,545)	(8,034,455)	
ショップ売上	44,100,000	34,951,763	9,148,237	
苗木売上	13,000,000	14,113,782	△ 1,113,782	
カフェ食堂運営事業収入	2,006,000	1,851,402	154,598	
酒類販売事業収入	2,500,000	1,700,299	799,701	
ばら誘客事業	4,219,000	4,219,000	0	
大隅広域事業	4,366,000	4,366,000	0	
人材育成事業	28,350,000	28,350,000	0	
大隅農山漁村ツーリズム推進事業	0	1,391,000	△ 1,391,000	
その他事業	(7,093,860)	(7,035,000)	(58,860)	
受付委託金収入	7,093,860	7,035,000	58,860	
補助金等収入	[0]	[2,301,363]	[△ 2,301,363]	
地方公共団体補助金収入	0	725,000	△ 725,000	
国庫助成金収入	0	1,576,363	△ 1,576,363	
寄付金収入	[130,000]	[13,100]	[116,900]	
寄付金収入	130,000	13,100	116,900	
雑収入	[327,000]	[872,752]	[△ 545,752]	
受取利息	27,000	4,073	22,927	
雑収入	300,000	868,679	△ 568,679	
経常収入合計	107,891,860	102,816,091	5,075,769	
【経常支出の部】				
事業費	[93,877,000]	[91,528,350]	[2,348,650]	
地域振興研修会議等事業費	(150,000)	(19,070)	(130,930)	
栽培教室支出	20,000	13,715	6,285	
アカデミー支出	10,000	0	10,000	
ばらのまちサポーター支援支出	20,000	5,355	14,645	
研修会支出	90,000	0	90,000	
その他支出	10,000	0	10,000	
地域産業振興等事業費	(900,000)	(888,380)	(11,620)	
新商品開発支出	50,000	0	50,000	
地元農林水産物加工品支出	850,000	888,380	△ 38,380	
売店運営事業費	(51,710,000)	(48,212,421)	(3,497,579)	
委託商品仕入費	31,975,000	24,562,501	7,412,499	
賃借料	447,000	804,770	△ 357,770	
保険料	0	30,460	△ 30,460	
水道光熱費	60,000	73,051	△ 13,051	
通信運搬費	54,000	71,888	△ 17,888	
雑費	240,000	75,425	164,575	
ばら苗仕入費	6,597,000	9,037,577	△ 2,440,577	
材料仕入費	200,000	813,938	△ 613,938	
給料手当	11,762,000	10,976,728	785,272	

科目	予算額	決算額	差異	備考
福利厚生費	60,000	275,899	△ 215,899	
法定福利費	115,000	26,894	88,106	
消耗品	200,000	1,050,810	△ 850,810	
商品仕入	0	311,180	△ 311,180	
旅費交通費	0	101,300	△ 101,300	
カフェ食堂運営事業費	(1,800,000)	(1,239,420)	(560,580)	
賃借料	1,750,000	1,239,420	510,580	
雑費	50,000	0	50,000	
広告宣伝企画等事業費	(500,000)	(296,750)	(203,250)	
誘客・販売促進事業費	100,000	0	100,000	
広報・宣伝活動費	100,000	96,750	3,250	
協力団体負担金	200,000	200,000	0	
その他支出	100,000	0	100,000	
交流・文化活動等事業費	(50,000)	(7,840)	(42,160)	
ばらのオーナー事業費	50,000	7,840	42,160	
酒類販売事業費	1,662,000	1,215,456	446,544	
起業家人材育成事業費	(28,350,000)	(28,623,666)	(△ 273,666)	
人件費	15,840,000	16,270,000	△ 430,000	
法定福利	1,770,000	2,291,622	△ 521,622	
講師料	5,440,000	5,283,765	156,235	
OJT受入費用	720,000	680,000	40,000	
教材費	490,000	498,056	△ 8,056	
リース料	2,250,000	2,220,120	29,880	
旅費	60,000	16,000	44,000	
研修会議費	362,000	0	362,000	
保険料	126,000	144,180	△ 18,180	
支払家賃	360,000	570,000	△ 210,000	
消耗品	272,000	336,296	△ 64,296	
役務費	360,000	0	360,000	
消費税	300,000	0	300,000	
研修費	0	135,000	△ 135,000	
車両費	0	57,409	△ 57,409	
雑費	0	70,190	△ 70,190	
通信運搬費	0	51,028	△ 51,028	
ばらを活かしたコーディネート事業	(4,219,000)	(4,354,010)	(△ 135,010)	
人件費	2,040,000	2,633,744	△ 593,744	
法定福利	384,000	355,964	28,036	
講師料	360,000	0	360,000	
備品リース費	384,000	151,200	232,800	
旅費交通費	250,000	38,040	211,960	
研修事業費	300,000	730,660	△ 430,660	
消耗品	300,000	168,669	131,331	
消費税	201,000	0	201,000	
通信費	0	4,000	△ 4,000	
保険料	0	8,100	△ 8,100	
広報費	0	222,065	△ 222,065	
雑費	0	41,568	△ 41,568	
大隅広域体験型観光推進事業	(4,366,000)	(4,511,050)	(△ 145,050)	

科目	予算額	決算額	差異	備考
人件費	2,040,000	2,563,744	△ 523,744	
法定福利	384,000	335,793	48,207	
講師料	600,000	0	600,000	
備品リース費	384,000	0	384,000	
旅費交通費	100,000	0	100,000	
研修事業費	500,000	571,655	△ 71,655	
消耗品費	150,000	120,355	29,645	
消費税	208,000	0	208,000	
通信費	0	282,107	△ 282,107	
車両費	0	105,564	△ 105,564	
保険料	0	736	△ 736	
雑費	0	162,141	△ 162,141	
広報費	0	7,815	△ 7,815	
リース料	0	361,140	△ 361,140	
その他事業費	(170,000)	(0)	(170,000)	
会員特典費	50,000	0	50,000	
その他支出	120,000	0	120,000	
九州新幹線開通記念事業	(0)	(725,000)	(△ 725,000)	
キャンドルナイト	0	725,000	△ 725,000	
大隅農山漁村ツーリズム推進事業	(0)	(1,435,287)	(△ 1,435,287)	
研修費	0	546,224	△ 546,224	
交通費	0	14,000	△ 14,000	
消耗品	0	66,663	△ 66,663	
広報費	0	626,300	△ 626,300	
人件費	0	180,000	△ 180,000	
雑費	0	2,100	△ 2,100	
管理費	[13,505,000]	[13,374,893]	[130,107]	
給料手当	8,700,000	6,772,963	1,927,037	
賞与手当	0	300,000	△ 300,000	
法定福利費	676,000	954,693	△ 278,693	
旅費交通費	74,000	111,020	△ 37,020	
通信運搬費	620,000	573,308	46,692	
消耗品費	100,000	278,698	△ 178,698	
印刷製本費	100,000	57,619	42,381	
賃借料	986,000	694,702	291,298	
租税公課	1,000,000	2,040,107	△ 1,040,107	
支払利息	300,000	160,320	139,680	
保険料	129,000	151,128	△ 22,128	
会議費	40,000	41,990	△ 1,990	
車両費	80,000	34,030	45,970	
修繕費	40,000	0	40,000	
水道光熱費	170,000	161,868	8,132	
渉外費	40,000	17,650	22,350	
雑費	450,000	548,111	△ 98,111	
寄付金支出	0	307,800	△ 307,800	
支払手数料	0	96,339	△ 96,339	
福利厚生費	0	72,547	△ 72,547	
経常支出合計	107,382,000	104,903,243	2,478,757	

科　　目	予　算　額	決　算　額	差　　異	備考
経常収支差額	509,860	△ 2,087,152	2,597,012	
【その他資金収入の部】				
借　入　金　収　入	[8,000,000]	[1,000,000]	[7,000,000]	
長　期　借　入　金　収　入	8,000,000	1,000,000	7,000,000	
その他資金収入合計	8,000,000	1,000,000	7,000,000	
【その他資金支出の部】				
借　入　金　返　済　支　出	[14,650,000]	[7,650,000]	[7,000,000]	
長　期　借　入　金　返　済　支　出	14,650,000	7,650,000	7,000,000	
その他資金支出合計	14,650,000	7,650,000	7,000,000	
当期収支差額	△ 6,140,140	△ 8,737,152	2,597,012	
前期繰越収支差額	10,883,175	10,883,175	0	
次期繰越収支差額	4,743,035	2,146,023	2,597,012	

正味財産増減計算書

平成23年 4月 1日から平成24年 3月31日まで

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

一般会計　　（単位:円）

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
棚卸資産増加額	1,079,866	1,079,866	
負債減少額			
長期借入金返済額	7,650,000	7,650,000	
増加額合計			8,729,866
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	8,737,152		
固定資産除却額	13,000		
建物減価償却額	13,279		
什器備品減価償却額	337,618		
棚卸資産減少額	556,557	9,657,606	
負債増加額			
長期借入金増加額	1,000,000	1,000,000	
減少額合計			10,657,606
当期正味財産減少額			1,927,740
前期繰越正味財産額			△ 2,500,814
期末正味財産合計額			△ 4,428,554

財　産　目　録

平成24年 3月31日現在

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

一般会計　　（単位:円）

科目	金額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	8,999,763		
現金　現金手許有高	534,882		
普通預金	7,464,881		
鹿児島興業信用組合鹿屋支店	1,825,477		
鹿児島興業信用組合西原支店	2,166,751		
ゆうちょ銀行振替口座	338,920		
ゆうちょ銀行総合口座	29		
九州労働金庫	26,163		
鹿児島銀行	1,884,707		
鹿児島興業信用組合/西原(人材育成)	1,222,834		
定期積金	1,000,000		
売掛金	127,920		
棚卸資産	1,079,866		
立替金	28,326		
ローズダイナー	28,326		
未収入金	390,000		
流動資産合計		10,625,875	
固定資産			
その他の固定資産			
建物附属設備	28,349		
什器備品	317,208		
その他の固定資産合計	345,557		
固定資産合計		345,557	
資産合計			10,971,432
【負債の部】			
流動負債			
買掛金	860,114		
未払金	1,904,594		
未払費用	4,314,478		
前受金	320,800		
流動負債合計		7,399,986	
固定負債			
長期借入金	8,000,000		
固定負債合計		8,000,000	
負債合計			15,399,986
正味財産			△ 4,428,554

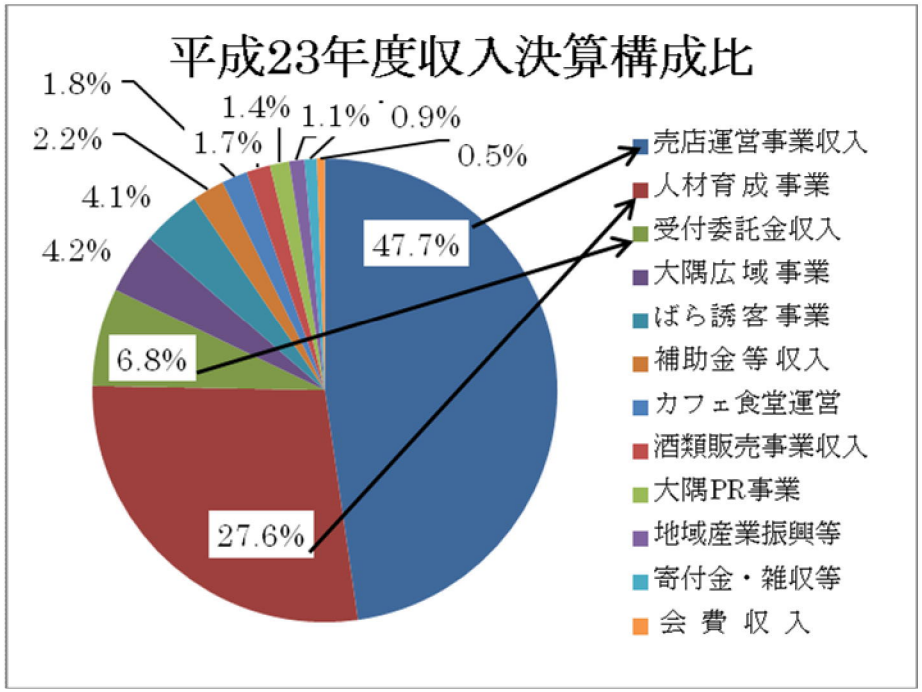
平成 23 年度決算書の科目構成比

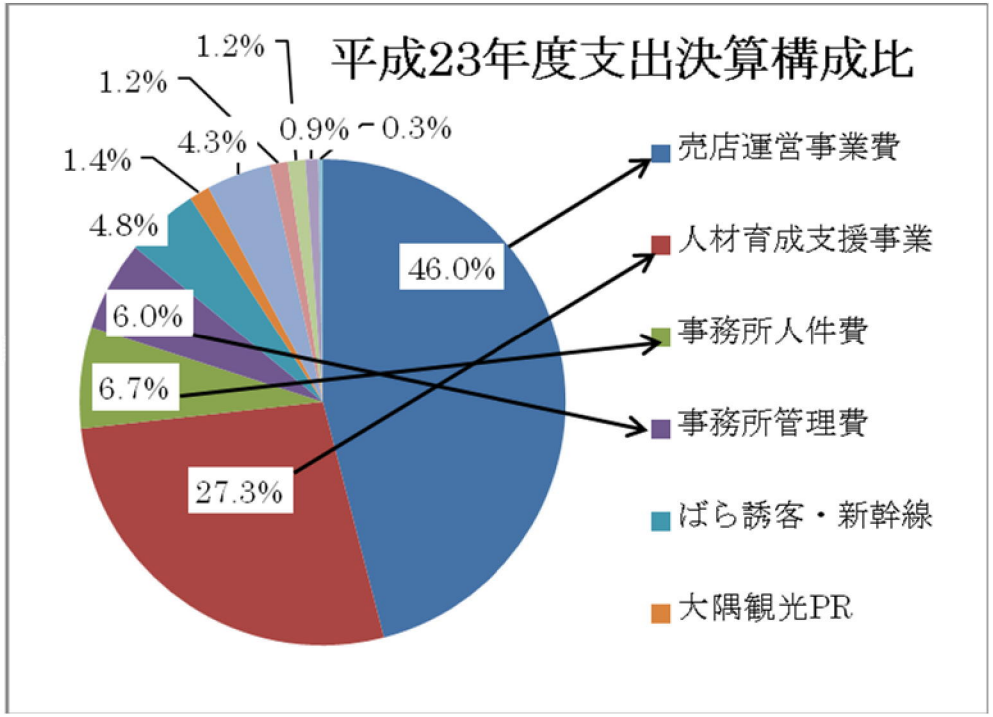
収入

売店運営事業収入	49,065,545	カフェ食堂運営	1,851,402
人材育 成 事業	28,350,000	酒類販売事業	1,700,299
受付委託金収入	7,035,000	大隅 PR 事業	1391000
大隅広 域 事業	4,366,000	地域産業振興等	1,086,630
ばら誘 客 事業	4,219,000	寄付金･雑収等	885,852
補助金 等 収入	2,301,363	会 費 収 入	564,000
		収入合計	102,816,091

支出

売店運営事業費	48,212,421	大隅広域観光	4,511,050
人材育成支援事業	28,623,666	カフェ食堂運営	1,239,420
事務所人件費	7,072,963	酒類販売事業費	1,215,456
事務所管理費	6,301,930	地域産業振興等	907,450
ばら誘客･新幹線	5,079,010	広告宣伝･交流文化等	304,590
大隅観光 PR	1, 435, 287	支出合計	104,903,243





平成２３年度　監査報告書

平成２４年５月１７日

特定非営利活動法人　ローズリングかのや
理事長　尾曲　伸一　様

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

監　事　中倉和人

監　事　鎌田浩二

当監事は、特定非営利活動法人ローズリングかのやの平成２３年４月１日から平成２４年３月３１日までの平成２３年度事業年度における業務及び会計、財産の状況について監査を実施したので、以下の通り報告します。

記

１．監査期日　　平成２４年５月１７日（木）

２．監査場所　　ローズリングかのや事務所

３．立会人　　特定非営利活動法人ローズリングかのや理事長　尾曲伸一
特定非営利活動法人ローズリングかのや事務局長　加藤リサ

４．監査報告

平成２３年度事業及び会計、財産の状況について、諸帳簿並びに関係書類等を監査した結果、違算がなく正当に執行されていたことを認める。また、業務の執行についても適正に行われていたことを認める。

議案第３号　平成２４年度事業計画

平成２４年度事業計画

特定非営利活動法人ローズリングかのや

１　事業実施の方針

昨年度は、これまでの協働・共生による「かのやばら園」を拠点としたまちづくりの取り組みを、根本的な面から見直し、再度「ばらを活かしたまちづくり」事業の意義や、当法人が設立された経緯及び協働のあり方を再確認し、全体的な事業計画の再構築の必要性が浮き彫りとなった年度となりました。

そこで今年度は、平成22年度に掲げた３ヶ年ビジョンに則した取り組み３年目ということを念頭に、以下の（1）～（3）を運営方針として各事業に取り組んでいきます。

（1）　協働の深化と進化：会員増強、行政との協働を強化

（2）　新たな誘客促進　：イングリッシュローズガーデンの活用、地域連携の推進

（3）　収益モデルの造成：バラ苗生産、売店の拡張、外部PR販売の強化

特に、鹿屋産のばらの生産を新たに始め、収益モデル造成の一つとして軌道に乗せることをめざします。

２　事業の実施に関する事項（平成24年4月1日 ～ 平成25年3月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事　業　内　容	実施予定時期	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数(人)		支出見込み額
地域振興のための各種催事・研修・会議の企画 演出事業 4,373,080 ⇓ 125,000	1）ばらの栽培教室	5～翌1月 月1回土曜日	かのやばら園	理事4名委員 20名（修了生）	一般市民	40人	15,000
	2）かのやばら園アカデミー	6～翌5月	かのやばら園他	理事1名委員 ２名（講師）	一般市民	220人	0
	3）ばらいっぱいコンクールの実施及びﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ	5，１１月	かのやばら園及び鹿屋市内外地域	理事 4名委員 ２名	一般市民	60人	0
	4）花＊薔薇＊会 活動支援	9～翌2月	かのやばら園	理事３名	花＊薔薇＊会	40人	10,000
	5）研修会・視察等 ・会員研修　・ｽﾀｯﾌ研修 ・ガーデニング研修他 ・一般向け研修会他	5～翌3月	かのやばら園及び県内外	理事２３名	会員及び 一般市民	300人 200人	90,000
	6）歳時ごと企画事業の実施（誘客イベント等）	4～翌3月	かのやばら園・県内外	理事１０名	一般市民	300人	10,000
地域産業振興のための商品の企画立案・販売事業 35,458,383 ⇓ 3,550,000	1）新商品開発事業 ばらの商品の開発支援	4～翌3月	売店及びカフェ食堂	理事１０名	地元市民及び企業	50人	680,000
	2）地元農林水産物を使用した加工製品の推奨	4～翌3月	売店	理事１０名	一般市民 観光客	10万人	1,020,000
	3）鹿屋産ばら生産	4～翌3月	賃借畑	理事７名 協力者３名			1,800,000
	4）大隅広域観光推進事業	4～翌3月	大隅広域	理事１０名	一般市民 観光客	10万人	50,000
観光施設・スポーツ施設等管理受託事業 49,451,841 ⇓ 62,821,110	1）受付業務 2）温室業務 3）売店運営事業 4）カフェ食堂運営事業	4～翌3月	かのやばら園 売店及びカフェ食堂	理事１０名	一般市民及び観光客	10万人	61,904,110 917,000

広告・宣伝に関する企画・立案制作事業 296,750 ⇓ 370,000	1）　会報の発行	７～１２月	かのやばら園及び鹿屋市内	理事１２名	会員及び一般市民	300人	70,000
	2）　ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会・かのやばら祭りへの参画	４～翌３月	かのやばら園及びかのや市街地	理事６名	一般市民及び観光客	10万人	200,000
	3）誘客・販促事業	４～翌３月	かのやばら園・売店･ｶﾌｪ食堂	理事６名	一般市民観光客	5万人	100,000
	4）広報・宣伝	４～翌３月	鹿屋市内外	理事５名	一般市民	10万人	0
交流・文化活動の企画・演出事業 732,840 ⇒ 380,000	1）ばらのオーナー制度（第三期募集と植付け）	１０～翌３月	かのやばら園	理事３名	一般市民第2期	150人	380,000
酒類販売事業 1,215,456 ⇒1,826,000	1）酒類の販売に係る事業	４～翌３月	かのやばら園	理事６名	鹿屋市民及び観光客	10万人	1,826,000
その他目的を達成するために必要な事業 0 ⇒　170,000	1）会員増強 ・RRK活動PR等 ・会員イベント等開催 2）産業活性化研修会等	４～翌３月	かのやばら園	理事１６名	鹿屋市民及び観光客	3000人	170,000

事業費　支出合計額　６９，２４２，１１０円

３　その他事項

平成21年度から3年間「ふるさと雇用再生特別基金事業」を活用して雇用した職員2人を、基金事業終了後も継続雇用し、自主事業をより充実させ、併せて収益事業にも力を入れる事で、地域を元気にする活動を継続実施致します。

また、本年度の事業推進体制として以下のとおり３つの委員会を設置し、それぞれ自らの目標を掲げる各委員会が、企画立案・行動計画を作成し、事業を推進してまいります。

A:　会員増強・広報委員会
設置目的：RRK の目的であるまちづくりの理念と活動の広報を効果的に行い、会員数の拡大を図る

B:　観光誘客・イベント委員会
設置目的：ER ガーデンオープンに伴うばら園を中核とする観光誘客を図る為のイベント等の企画立案と開催実施及び周辺施設との連携による誘客拡大を図る。

C:　収益拡大委員会
設置目的：今後の継続的な組織体制の維持を図る為の収益確保に向けて積極的な事業を行う。

平成24年度事業計画詳細内容

（1）特定非営利活動に係る事業

■　地域振興のための各種催事・研修・会議の企画・演出事業

1）　　ばらの栽培教室の継続実施

ばらのまちづくりを担う人材育成を目指してスタートし、今年で第９回目を迎えた「ばらの栽培教室」は、今回福岡市や都城市など県外からの２人を含む４０名の受講生となりました。今年度は、かのやばら園リニューアルオープンでもあり例年より１回増やし、全９回講座とし、かのやばら園の専門技術者と、本栽培教室を修了し「ばらのまちサポーター」から発展したボランティアグループ「花＊薔薇＊会」のメンバーが、協力して講師及び講座のサポートを行う形で実施致します。

2）　　かのやばら園アカデミーの継続実施

かのやばら園の誘客をテーマに「ばらの花以外のばら園の魅力」を作り出すためにスタートした各種手工芸講座「かのやばら園アカデミー」も今年で７期目を迎えました。昨年度、分野や範囲を広げて講師を募集し、体験講座等に協力参加された講師の中から、新たな講座開設も検討し、ばら園のより幅広い PR 及び誘客に努めます。

3）　　ばらいっぱいコンクールの実施

ばらづくりの素晴らしさを多くの方に知っていただき、ばらいっぱいで元気な「ばらのまち」づくりを目的として、平成２４年５月に第４回「ばらいっぱいコンクール」を開催しました。今年は初めての試みとして、全国的に著名な育種家を招き、審査に加わっていただき多くのアドバイスをいただき、参加者のモチベーションにアップを図りました。今後も、年間を通じた参加者への情報提供などを通して、街のばらいっぱい運動を推進していきます。

4）　　花＊薔薇＊会活動支援事業

ばらの栽培教室を修了した「ばらのまちサポーター」を中心に立ち上がったボランティアグループ「花（はな）＊薔薇（はな）＊会（かい）」も６年目を迎え、ばらの栽培やガーデニングを含む定例勉強会に加え、地域の学校や町内会からの依頼により、ばらの手入れ指導の活動も実施しています。またリニューアルオープンしたイングリッシュローズガーデンの植栽作業にも関わり、「花（はな）＊薔薇（はな）＊会（かい）」としてのばら栽培事業など独自事業も含めて幅が広がる活動を、継続支援してまいります。

5）　　研修会・視察等の実施

会員研修視察につきましては、これまでの「大隅半島の魅力」の発掘として取り組んでまいりました体験型観光のできるポイントなどをつないだコースの提案など、「かのやばら園」から広がる広域での誘客拡大をめざし、具体的な取り組みを進めていきます。またこれまでの取り組みによるネットワークを活かし、広域での観光拠点相互の連携を強化してまいります。

6）　　歳時ごとの企画事業の実施

昨年度までの 3 年間、「ばらを活かした誘客促進コーディネート」事業として取り組んでまいりました各種企画の実績を基に、閑散期におけるかのやばら園への誘客と売店・カフェ食堂の販売促進に努めます。

夏：夏休みイベント（ばら園スタンプラリー、体験工房、特産品フェアなど），

冬：クリスマスイベント（リース作り体験、手作りリース展），ミニコンサート

　　新年もちつき大会、ひな祭り体験イベント、バレンタインデー等イベント

■　地域産業振興のための商品の企画・立案・販売事業

1）　新商品開発事業

鹿屋産ばら苗及び商品の原料としてのばらの花弁等の安定供給のための取り組みを支援します。

2）　地元農林水産物を使用した加工製品の推奨

地場の農林水産加工グループや食品製造業等と連携し、鹿屋市の恵まれた地域資源である農林水産物や加工品などを地域内外に積極的に情報発信し、地域ブランドの確立を図ります。

3）　鹿屋産ばら生産事業

ばら園の誘客と共に、ばらの生産・販売をビジネスとして軌道に乗せ、「ばらのまちかのや」としての知名度を高め、地域活性化を促進すること目的として、鹿屋産のばらの生産・栽培事業を始めます。その一環として、当法人のアドバイザーであるデービッド・バークレイ・サンダ-ソン氏が作出した新品種のばら「おおすみ・花＊薔薇＊会」の品種登録の申請も行います。これらの事業を始める為の初期投資資金として、新規ローズリング債 200 万円を発行し、準備しました。

4）　大隅広域観光推進事業

これまで、大隅各地域の魅力を発信する為の自主的な活動グループ「わくわくすんくじら」と、大隅各地の観光案内所連絡会の事務局としての役割を担い、情報交換や相互協力などの取り組みをしてまいりましたが、今年度は上記二つの会を統合した「0h！すみっこクラブ」として新たに発足し、大隅全域の有志や行政が相互に連携し、広域での誘客を図ります。また、平成 22 年度末に設立された「かのやツーリズム協議会」のメンバーとして、広域での教育旅行受入の取り組みにも協力参加していきます。

■　観光施設・スポーツ施設等の管理受託業務

1）　売店運営事業

昨年夏以降のばらの生育不良という事態により、秋のバラシーズンの入園者半減に比例して売店売上の半減（前々年比約５割程度収入減）、さらにばら園再生に向けた植替え作業の為１月～3 月の３ヶ月間休園する事態となった状態での売店運営という大変厳しい状況を、スタッフ一丸となった工夫及び鹿屋市からの売店賃借料の部分免除により、なんとか予算の８５％までは達成しました。今年度も、より一層お客様目線の工夫と視野を広げた PR 強化を図り、地域資源の宝庫である大隅地域の活性化に貢献できる売店運営を目指します。

2）　カフェ食堂運営事業

ばら園に相応しいメニューや、各イベントに合わせたメニューの開発など、より「かのやばら園」ご来園のお客様に喜ばれる食とサービスを提供していきます。

■　広告・宣伝に関する企画・立案・制作事業

1）　会報の発行

会報「ローズリングファミリー」を発行し、イベント情報発信や会員サービスの充実を図ります。

2）　ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会・かのやばら祭り実行委員会への参画

ばらを活かしたまちづくりの実施団体として、また、ばら祭り実行委員会の実行委員として活動を進めて行きます。

3）　誘客・販促事業

ばらの花が極端に少ない９月及び２～３月の剪定後の時期に来園されたお客様に、スタッフ発案カードプレゼントのサービス等を行い、次回の来園を促します。また、ばらを活かしたまちづくり計画推進委員会と協力し、かのやばら園誘客促進の目的で、年に３～４回の出張キャンペーン（ばら祭り in 山形屋など）や、地元スポーツ大会やイベントにおける PR 販売活動を展開してまいります。

4）　広報・宣伝

閑散期の誘客目的イベントや商品情報などを旅の情報紙や地元メディアを活用して PR することに加え、旅行会社に対して大隅広域における体験プログラムをつなぐツアーを提案するなど、行政と連携しながら広報宣伝に努めます。

■　交流・文化活動の企画・演出事業

1）　ばらのオーナー制度

ばらを通じての交流を目的に始まりました「ばらのオーナー制度」も 23 年度で第 2 期を終え、今年度末は「オーナーばら」を植栽する「市民ガーデン」の連作障害等の対策として 1 年間休耕させることとしました。10 月頃から第 3 期の募集を始め、3 月には「市民ガーデン」への植栽を行う計画です。

■　酒類販売事業

1）　酒類の販売に係る事業

地元企業との連携により開発された「ばらを使った酒類」の販売をより促進するために、お互いーの取り組みについて情報交換や意見交換を行いながら、さらに販路拡大のための企画・広報を行います。

■　その他目的を達成するために必要な事業

1）　会員増強

・昨年度に引き続き、ローズリングかのやの事業や、その会員になる意味などについて、各団体などの会合を訪問し、説明しながら、理解して頂く取り組みを続けます。また、故郷を離れて地元を応援する会（関東鹿屋会等）との交流などの取り組みを行い、会員増強をはかることで、より幅広い層の方々に支えられ、またはみんなで創る「ばらを活かしたまちづくり」事業をめざします。

2）　産業活性化研修会の開催

・大隅地域各地に豊富にある食・自然・文化などの資源を、地元住民は基より外部の方々に魅力的に発信し、地域産業活性化に活かす為の商品化について、各地域の方々を対象とした研修会等を開催します。

（2）その他の事業

■　地域産業に関する商品の企画・販売・斡旋事業

1）かのやばら園の売店において、地元業者の商品を優先的に販売を行い、業者の方々と定期的な意見交換会を開催するなどのコミュニケーションをとりながら、お客様のニーズに応える商品づくりに取り組み、地元商品の効果的な PR に努めます。

メ　モ

平成24年度収支予算平成24年 4月 1日から平成25年 3月31日まで

特定非営利活動法人　ローズリングかのや

科　　目	H24予算	予算根拠	H23予算額	H230309現在決算
【経常収入の部】				
会　費　収　入	624,000		800,000	564,000
会　費　収　入	624,000	団体30×10000、個人270×1200	800,000	564,000
事　業　収　入	85,503,860		106,634,860	97,820,661
地域産業振興等	2,050,000		1,000,000	1,075,180
新商品開発収入	850,000	ばらの花弁販売(5000/kg　×　170kg)	0	50,000
地元農林水産物	1,200,000	前年度予算×1.2	1,000,000	1,025,180
売店運営事業収入	66,035,000		57,100,000	48,287,333
ショップ売上	48,510,000	前年度予算×1.1	44,100,000	34,200,551
ﾈｯﾄｼｮｯﾌﾟ売上	150,000	5000円／件×30件	0	0
苗　木　売　上	17,225,000	前年度予算×1.3+立替払い分	13,000,000	14,086,782
花束・ｱﾚﾝｼﾞｻｰﾋﾞｽ	150,000	500円／一回×300件　サービス料金として	0	0
カフェ食堂運営	2,375,000	家賃867,000＋償還1,208,000＋売上3千万円(仮)　×0.1	2,006,000	1,851,402
酒類販売事業収	3,000,000	前年度予算×1.2	2,500,000	1,635,746
ばら誘客事業	0	23年度受託事業	4,219,000	4,219,000
大隅広域事業	1,350,000	24年度受託事業（予定）	4,366,000	4,366,000
人材育成事業	0	23年度受託事業	28,350,000	28,350,000
大隅PR	0	23年度受託事業	0	1,391,000
そ の 他 事 業	10,693,860		7,093,860	6,645,000
受付委託金収入	7,093,860	ほぼ前年度同額	7,093,860	6,645,000
温室委託金収入	3,600,000	見積額（14日勤務×4人分＋管理費318,000） 当初見積額：3,720,000、 H18,19年度:約4,400,000	0	0
補助金 等 収入	600,000		0	1,701,363
地方公共団体補	0		0	725,000
国庫助成金収入	600,000	継続雇用一時金　（３０万×２人分）	0	976,363
寄 付 金 収 入	13,000		130,000	13,000
寄 付 金 収 入	13,000	ろうきん寄付金（２３年度実績による）	130,000	13,000
雑　　収　　入	305,000		327,000	361,310
受　取　利　息	5,000	23年度実績による	27,000	3,687
雑　　収　　入	300,000	23年度実績による	300,000	357,623
経常収入合計	87,045,860		107,891,860	100,460,334
【経常支出の部】				
事　　業　　費	69,242,110		94,602,000	84,056,320
地域振興研修等	125,000		150,000	19,070
栽培教室 支出	15,000	23年度実績による	20,000	13,715
アカデミー支出	0	23年度実績による	10,000	0
ｻﾎﾟｰﾀｰ支援支出	10,000	23年度実績による	20,000	5,355
研 修 会 支 出	90,000	自主事業として	90,000	0
そ の 他 支 出	10,000	研修備品等	10,000	0
地域産業振興等	3,550,000		900,000	878,087
新商品開発支出	680,000	花弁購入（4000円／kg×170kg）	50,000	0
地元農林水産物	1,020,000	加工ｸﾞﾙｰﾌﾟ商品など(前年度予算×1.2)	850,000	878,087
鹿屋産ばら栽培	1,800,000	事業立上げ経費	0	0
大隅広域観光推進	50,000	連絡会会費や他の活動経費		
売店運営事業費	61,904,110		51,710,000	45,692,774
委託商品仕入費	35,572,500	前年度予算×1.1＋Net Shop	31,975,000	23,797,901
賃　　借　　料	1,070,000	23年度実績による	447,000	804,770
保　　険　　料	30,460	23年度実績による	0	30,460
水 道 光 熱 費	60,000	23年度実績による	60,000	61,332
通 信 運 搬 費	70,000	23年度実績による	54,000	64,536
雑　　費	100,000	23年度実績による	240,000	99,025
ばら苗 仕 入費	8,580,000	前年度予算×1.3	6,597,000	8,025,630
材 料 仕 入 費	800,000	ｵﾘｼﾞﾅﾙ商品材料	200,000	764,818
給 料 手 当	14,282,000	23年度実績＋温室分	11,762,000	10,321,196
福 利 厚 生 費	250,000	23年度実績による	60,000	252,619
法 定 福 利 費	139,150	23年度実績＋温室分	115,000	49,633
消　　耗　　品	550,000	22年度実績＋温室分	200,000	1,008,374
商　品　仕　入	300,000	買取商品仕入れ	0	311,180
旅 費 交 通 費	100,000	23年度実績による	0	101,300

科　　目	H24予算	予算根拠	H23予算額	H230309現在決算
カフェ食堂運営	917,000		1,800,000	1,144,080
賃　借　料	867,000	家賃のみ（リース終了）	1,750,000	1,144,080
雑　　費	50,000	修繕費など	50,000	0
広告宣伝企画等	370,000		500,000	266,745
誘客・販促事業	100,000	販促ｻｰﾋﾞｽ品など	100,000	1,260
広報・宣伝活動	70,000	23年度実績による	100,000	65,485
協力団体負担金	200,000	祭り実行委,ばら推進委	200,000	200,000
そ の 他 支 出	0		100,000	0
交流・文化活動	380,000		50,000	7,840
ばらのオーナー	380,000	1年休み	50,000	7,840
酒類販売事業費	1,826,000	酒類仕入れ費	1,662,000	1,174,989
その他 事 業費	170,000		170,000	0
会 員 特 典 費	50,000		50,000	0
そ の 他 支 出	120,000		120,000	0
広　報　費			0	411,300
管　理　費	**16,402,000**		**13,505,000**	**10,886,441**
給 料 手 当	9,840,000	24年度：職員4名、理事4名 23年度：職員4(2)名、理事2名 ※うち、職員2人分は事業費内人件費	7,560,000	5,793,219
賞 与 手 当	720,000	22年度の口蹄疫の影響による収益減により、23年度は予算計上せず。 24年度は計上したが、収益により調整する。	0	130,000
法 定 福 利 費	1,005,000	4人分を計上	676,000	839,162
旅 費 交 通 費	110,000	23年度実績による	74,000	111,020
通 信 運 搬 費	620,000	23年度実績による	620,000	490,020
消 耗 品 費	300,000	23年度実績による	100,000	210,105
印 刷 製 本 費	100,000	23年度実績による	100,000	39,900
賃　借　料	1,020,000	諸リース料金	986,000	641,677
租 税 公 課	1,000,000	23年度に準ずる	1,000,000	652,023
支 払 利 息	200,000	23年度実績による	300,000	146,960
保　険　料	277,000	車両保険など２台分（H23：124520＋147080）	129,000	147,080
会　議　費	40,000	23年度実績による	40,000	41,840
車　両　費	140,000	燃料費２台分(H23：58,959+64,440+21834)	80,000	21,834
修　繕　費	40,000	23年度実績による	40,000	0
水 道 光 熱 費	170,000	23年度に準ずる	170,000	137,805
渉　外　費	40,000	23年度に準ずる	40,000	16,950
雑　　費	550,000	23年度に準ずる(会計委託費40万円を含む)	450,000	1,007,755
寄付金支出(被災地へ)	0	実施検討	0	307,800
支 払 手 数 料	80,000	23年度実績による	0	78,744
福 利 厚 生 費	150,000		0	
経常支出合計	**85,644,110**		**108,107,000**	**94,942,761**
経常収支差額	**1,401,750**		**-215,140**	**5,534,653**
【その他資金収入の部】				
借 入 金 収 入	**2,000,000**		**8,000,000**	**8,000,000**
長期借入金収入	2,000,000	ばら栽培の為新規発行	8,000,000	8,000,000
その他資金収入合計	**2,000,000**		**8,000,000**	**8,000,000**
【その他資金支出の部】				
借入金返済支出	**2,000,000**		**1,600,000**	1,600,000
債券償還【積立金】	2,000,000	24年度ﾛｰｽﾞﾘﾝｸﾞ債返還積立金 200万円	1,600,000	1,600,000
長期借入金返済	0		0	0
その他資金支出合計	**2,000,000**		**1,600,000**	**1,600,000**
当期収支差額	**1,401,750**		**6,184,860**	**11,934,653**
前期繰越収支差額	**2,146,023**		**2,880,000**	**2,880,000**
次期繰越収支差額	**3,547,773**		**9,064,860**	**9,750,748**

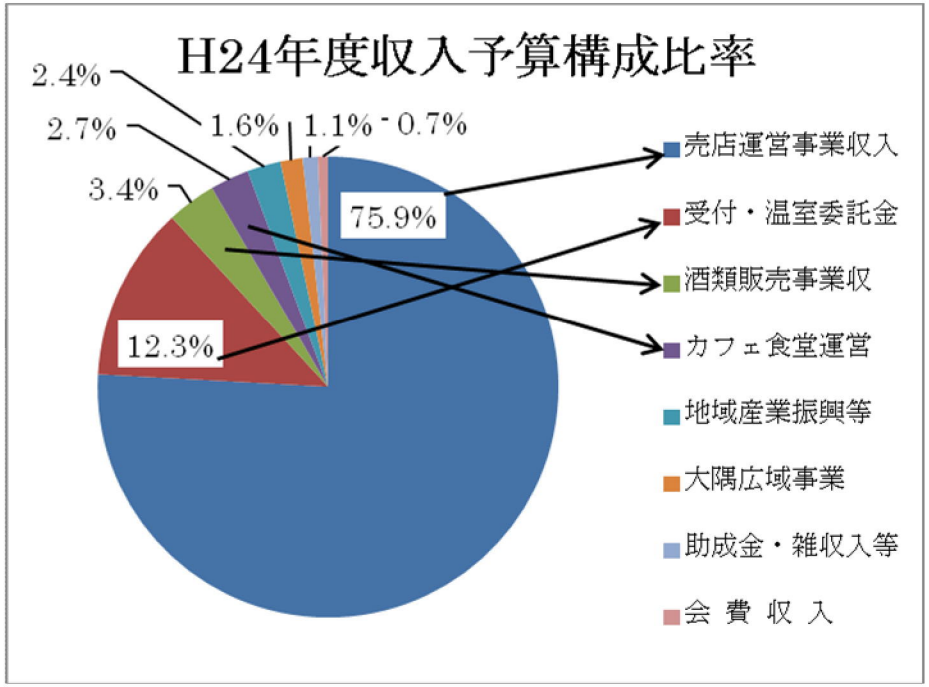
平成 24 年度予算書の科目構成比率

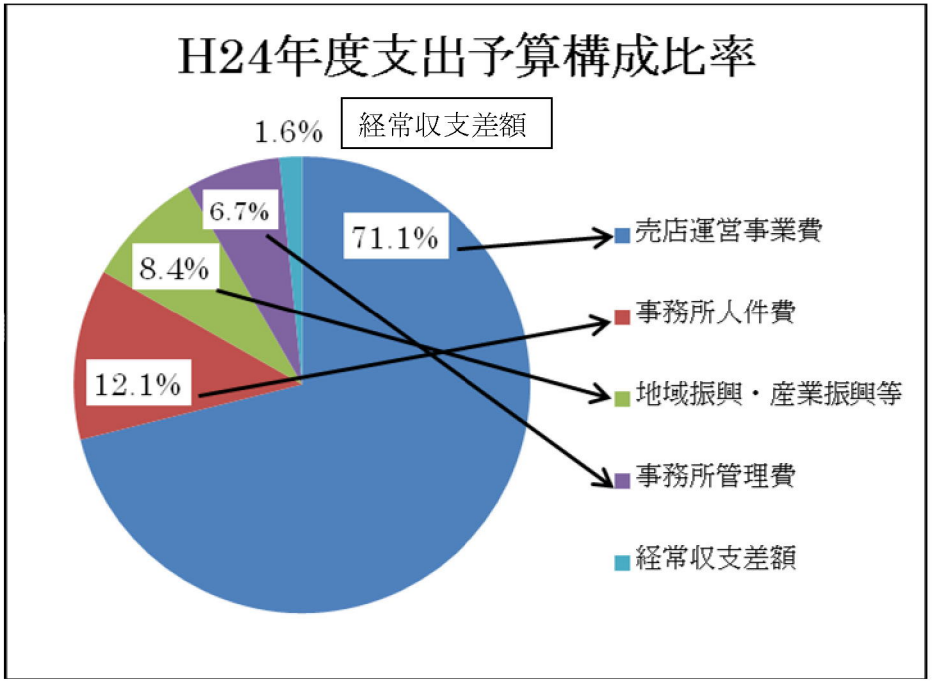
収入

売店運営事業収入	66, 035, 000
受付・温室委託金	10, 693, 860
酒類販売事業収	3, 000, 000
カフェ食堂運営	2, 375, 000
地域産業振興等	2, 050, 000
大隅広域事業	1, 350, 000
助成金・雑収入等	918, 000
会　費　収　入	624, 000
収入合計	87, 045, 860

支出

売店運営事業費	61, 904, 110
事務所人件費	10, 560, 000
地域振興・産業振興等	7, 338, 000
事務所管理費	5, 842, 000
経常収支差額	1, 401, 750
支出合計	87, 045, 860





メ　モ

議案第５号　役員の変更に関する件

【辞　任】

■ 理　　事　松元キヌ子　　辞任年月日：平成２４年５月３１日

■ 監　　事　中倉和人　　辞任年月日：平成２４年５月３１日

【新　任】

■ 理　　事　鵜藤哲夫　　任期：平成２４年６月１１日から平成２５年５月３１日

■ 監　　事　早川雅子　　任期：平成２４年６月１１日から平成２５年５月３１日

議案第６号　NPO 法改正に伴う定款変更の件

ＮＰＯ法改正（平成 24 年４月１日）による当法人の定款変更を必要とする箇所

変更前（現行）	変更後
第 15 条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。	第 15 条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。理事長以外の理事はこの法人の業務について、この法人を代表しない。
第 49 条 この法人の事業報告書、収支計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。	第 49 条 この法人の事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類は、毎事業年度終了後、速やかに、理事長が作成し、監事の監査を受け、総会の議決を経なければならない。
第 52 条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の４分の３以上の多数による議決を経、かつ、法第 25 条第３項に規定する軽微な事項を除いて所轄庁の認証を得なければならない。	第 52 条 この法人が定款を変更しようとするときは、総会に出席した正会員の４分の３以上の多数による議決を経て、かつ、法第 25 条第３項に規定する以下の変更を行なう場合は所轄庁の認証を得なければならない。 ・目的 ・名称 ・その行う特定非営利活動の種類及び当該特定非営利活動に係る事業の種類 ・主たる事務所及びその他の事務所の所在地（所轄庁の変更を伴うものに限る。） ・社員の資格の得喪に関する事項 ・役員に関する事項（役員の定数に係るものを除く） ・会議に関する事項 ・その他の事業を行う場合における、その種類その他当該その他の事業に関する事項 ・解散に関する事項（残余財産の帰属すべき者に係るものに限る。） ・定款の変更に関する事項

議案第６号　NPO 法改正に伴う定款変更の件

変更前（現行）

法改正により、定款による以下の言葉の用い方に変更があり、定款の字句を改訂します。

収支　⇨⇨⇨⇨⇨⇨⇨　活動

収入　⇨⇨⇨⇨⇨⇨⇨　収益

支出　⇨⇨⇨⇨⇨⇨⇨　費用

変更後

字句改訂の対象条項は以下の通りです。

第24条

（3）　事業計画及び**活動**予算並びにその変更

（4）　事業報告及び**活動**決算

第40条

（4）　財産から生じる**収益**

（5）　事業に伴う**収益**

（6）　その他の**収益**

第45条　この法人の事業計画及びこれに伴う**活動**予算は、理事長が作成し、総会の議決を経なければならない。

第46条　前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じ**収益、費用の措置を講じること**ができる。

２　前項の**収益、費用**は、新たに成立した予算の**収益、支出**とみなす。

第 47 条　予算超過又は予算外の**費用**に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

附則

この法人の設立当初の事業計画及び**活動**予算は、第 45 条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによるものとする。

3ヶ年ビジョン経過報告

2010 年度を初年度するローズリングかのや 3 ヶ年ビジョンは本年度が最終年度ですが、これまでの成果及び今後の計画については以下の通りです。

ビジョン項目	経過と成果	今後の方針・計画
ローズリングかのやの会員数を 1000 人にする。	地域の経済団体等の例会等に参加させて頂いたり、イベントに合わせた会員勧誘を行なったが、アピール不足もあり思ったほど会員の伸びがなかった。 現在３３５名（2012 年 5 月）	さらに広報の機会を増やすために、ビデオ・プレゼン資料等の PR 用メディアを活用しイベント等での会員獲得に取組むと共に、行政・議会へ協働のまちづくりの参加を促す。また、出張イベント等を通したアピールを行なう。
大隅地域での民泊受入者を 100 軒確保する	大隅の各ツーリズム協議会と協力し、研修会等の開催やツーリズム参加の呼びかけを行なった結果､2012 年 3 月現在、垂水 87 軒鹿屋市 43 軒・曽於市 27 軒・志布志市 26 軒・大崎町 32 軒南大隅町 44 軒 合計 259 軒となった	目標は達成したが、大隅での年間教育旅行受入を 5 千人とすると 400 軒以上が必要となり今後も引き続き民泊受入者獲得にむけて協議会と協力して取組む
長期人材育成の制度を作る	本年度人材育成支援事業として 6 人の起業をめざす人材を雇用し、1 年間に渡って、経営者にとって必要な 300 時間にわたる座学と地元企業での OJT を通して、事業計画書を作成し、起業をめざして現在取りくんでいる。	今回、研修生の座学を広く門戸を解放し、経営者オープンセミナーとして地元経営者にも学習の場を提供したが、思ったほどの参加がなかったことを踏まえ、現場に即した参加しやすい研修の在り方を考え、人材育成支援を行なう。
バラ検定制度を作る	検定制度の土壌作りとしての栽培教室、バラいっぱいコンクールなどをおこなった。 検定制度については、まだ鹿屋市自体がばらのまちかのやの浸透ができてないと考えるので今後の検討事項として位置づける	本年当初から始まったイングリッシュローズガーデンが、これから数年を経て本格的に楽しめるばら園の目玉となり、バラのまちかのやとしての知名度が浸透を図りつつ、検定制度を含めた制度作りを考える。

大隅地域の入込み人口を年間700 万人にする	基礎となる統計がなくなったことで、数値目標は追えないが、地区外観光施設との連携によるツアー企画、教育旅行の受入者の募集など誘客を図る為の活動を実施した。教育旅行については今後の増加が大きく期待出来ると思われる	大隅地域への誘客を図る活動、すなわち、かのやばら園のリニューアルオープン及びイングリッシュローズガーデンの PR・ツーリズムの受入体制の強化などを通して引き続き誘客活動を行なっていく。
大隅地域の海外誘客 30 万人をめざす	外国人対応については英語版のパンフレットの改訂を行ない、中国語版、韓国語版の作成途中であり、それなりの取組みは進んでいる。	ハウステンボス等との連携で今後、海外のお客様を迎えられるチャンスも増加すると思われるので、その受入体制をハード、ソフト両面で整備して行く。

『ローズリングかのや』会員名簿

【個人会員】　　265名【50音順】

No.	名　前	No.	名　前	No.	名　前	No.	名　前
1	青木　真由美	71	川元　公郎	141	立元　ヨリ	211	前田　数郎
2	有園　淳子	72	神田　紘子	142	田中　幹雄	212	前田　稔廣
3	有園　耕一	73	関東かのや会	143	谷村　光宏	213	前田　宗隆
4	有園　すみえ	74	貴島　綾	144	田畑　菊夫	214	前田　幸夫
5	安藤　一夫	75	北方　憲一	145	立元　良三	215	益満　裕子
6	安楽　友起子	76	北方　敏子	146	茶円　まゆみ	216	益山　和子
7	池田　志保子	77	北山　勉	147	津崎　方靖	217	益山　尚子
8	石躍　さとみ	78	清藤　正人	148	土橋　和子	218	町田　和子
9	石川　勉	79	久木田　久美子	149	鶴丸　秀治	219	松下　秋太郎
10	伊野　幸二	80	久保　芙美子	150	ディビット・バークレィ・サンダーソン	220	松田　守男
11	伊牟田　ユリ子	81	久保田　正子	151	堂下　光志	221	松元　茜
12	井料　英昭	82	窪田　昌義	152	遠矢　達一	222	松元　キヌ子
13	岩切　菜穂子	83	栗元　秀昭	153	徳田　浩	223	松本　辰二
14	岩﨑　一葉	84	栗脇　士郎	154	徳田　瑞穂	224	益満　恭子
15	岩田　和子	85	黒木　千栄子	155	徳留　浩二	225	丸野　里美
16	岩元　篤典	86	黒松　正行	156	徳永　美樹	226	三角　香織
17	岩元　研作	87	小石田　崇	157	鳥越 賢二	227	三角　智秋
18	上清水　良江	88	郷原　聖哲	158	中垣内裕子	228	三井　イツオ
19	上園　圭子	89	郷原　利絵	159	中澤　良次郎	229	南大津　明子
20	上田　加津子	90	郡　裕作	160	中島　芳美	230	南大津　和代
21	上ノ原　弘子	91	小島　梢	161	中田　明子	231	南脇　ちよ子
22	上船　のどか	92	古城　髙志	162	中原　平一郎	232	蓑田　健作
23	上松　喜代美	93	小園　博	163	中原　律子	233	宮内　瑞恵
24	上山　よし子	94	五代　洋之	164	中間　いく代	234	宮腰　昌子
25	牛嶋　真由美	95	児玉　照子	165	中俣　和子	235	宮地　美保子
26	内田　秀行	96	児玉　みどり	166	永山　俊一	236	宮島　眞一
27	内山　道男	97	児玉　美環子	167	永吉　たよ子	237	宮園　明裕
28	鵜藤　哲夫	98	後藤　真澄	168	永吉　次雄	238	宮薗　善隆
29	王谷　英仁	99	小林　千鶴	169	永吉　律子	239	宮田　研一
30	大石　博資	100	小山　宏	170	鉛山　幸男	240	村井　桂子
31	大久保　直志	101	小山　レイ子	171	成松　律子	241	本九町　悟
32	大窪　千代子	102	近藤　美登里	172	西口　純一	242	本白水　捷司
33	大久保　怜子	103	近藤　善光	173	西木場　奈緒美	243	本橋ちず子
34	大重　竜作	104	近野　仁	174	西間庭　智子	244	本村　ヒロヨ
35	太田　瑠璃子	105	坂江　弘子	175	西村　主税	245	安田　康弘
36	大竹山　幹男	106	坂元　和子	176	野方　百合子	246	柳田　清子
37	大竹山　みす代	107	坂元　勝海	177	野田　敬一	247	柳田　早苗
38	大槻　裕紀	108	坂元　博	178	萩枝　文子	248	山﨑　隆夫
39	大宮路　登茂代	109	坂本　浩人	179	羽嶋　里恵	249	山田　一生
40	大山　正行	110	桜木　麻衣子	180	八反田　朱美	250	山田　加陽子
41	岡留　絹子	111	迫田　しげ子	181	花岡あばてんね会	251	山村　由起子
42	奥村　純一郎	112	迫田　律子	182	原田　雅子	252	豊　あゆみ
43	印口　信一	113	佐藤　奈津子	183	原田　靖	253	湯地　エイ子
44	落司　ひとみ	114	佐藤　正人	184	春口　善三郎	254	吉岡　真樹
45	鬼丸　京子	115	佐藤　了一	185	東　康子	255	吉國　重光
46	鬼丸　義嗣	116	鮫島　妙子	186	東久保　英昭	256	吉田　みさ子
47	小原　祐一	117	下清水　孝子	187	東牧　弘道	257	吉原　隆
48	尾曲　伸一	118	下清水　貢	188	東元　七郎	258	吉松　賢二
49	尾曲　由香	119	嶋田　貞則	189	久永　兼愛	259	吉松　佑哉
50	尾曲　和子	120	嶋田　芳博	190	久永　トミ子	260	四元　忠久
51	尾曲　祥子	121	下清水　より子	191	久永　義伸	261	米川　淳司
52	小山　晴也	122	下宮　リツ子	192	樋脇　佐愛子	262	米倉　正之
53	甲斐　みつ子	123	小迫　勝美	193	深水　とも子	263	米永　淳子
54	皆倉　みどり	124	庄島　弘子	194	福岡　孝子	264	米盛　徹郎
55	加藤　かおり	125	森　淳	195	福崎　和士	265	脇元　夏子
56	加藤　邦子	126	森　小百合	196	福地　孝一		
57	加藤　リサ	127	森　美智子	197	福永　一文		
58	鎌田　謙二	128	森岡　智恵美	198	福永　ひとみ		
59	鎌田　浩二	129	新留　幸子	199	福満　輝男		
60	上片野　幸子	130	新保　久美子	200	藤﨑　トク子		
61	上鶴　恭子	131	新山田　真由美	201	藤野　節子		
62	神柱　利雄	132	末弘　京子	202	淵之上　治子		
63	上谷田　浩幸	133	鈴木　なち子	203	古江　矢		

64	上谷田　美由紀	134	鈴木　三枝子	204	風呂井　敬		
65	上村　勲	135	諏訪原　也寸志	205	別府　ひとみ		
66	上村　ひとみ	136	早田　知正	206	別府込　初男		
67	川崎　源雄	137	園田　俊二	207	外園　義昭		
68	河野　京子	138	竹井　高志	208	堀内　サナエ		
69	河原　彰一	139	田島　節子	209	北郷　奏美		
70	河原　多美子	140	立元　大	210	前田　昭紀		

【売店納入業者】　　62団体【50音順】

No.	名　前	No.	名　前	No.	名　前	No.	名　前
1	アネット㈲	21	杵屋モンドール	41	陶芸の里あすか	61	ル・シェル
2	㈱東農園	22	久木田真弓	42	和み窯	62	㈲芳恵丸
3	NPO法人eすぺーす	23	久保醸造合名会社	43	ナチュラルライフ		
4	㈲一番堂ハンヤ	24	㈲グリンエスコ	44	㈱南方新社		
5	有限会社　岩元園	25	児島商事	45	日本有機㈱		
6	うつわ　ぱれあな	26	㈱三和グリーン	46	農事組合法人南州農場		
7	大坂屋	27	ジミー入枝	47	㈲ヌーハウス		
8	おおすみ食品	28	下前原　稔	48	野里カンナ起業グループ		
9	大隅バラ農場	29	末次　めぐみ(まりめぐ)	49	肥後　智子		
10	大坪茶舗	30	ｾｲｶ食品㈱鹿屋営業所	50	福山　和子		
11	緒方茶工房	31	生活改善農産加工班	51	福元商店		
12	オリオンギフト	32	誠花堂	52	冨士屋製菓㈲		
13	ガーデンラウムシバ	33	（有）善style	53	㈲古市商会		
14	鹿屋市観光協会	34	㈱綜合印刷	54	ペリゴール		
15	鹿屋商工会議所女性会	35	㈱垂水温泉鶴田	55	㈲ベルかのや		
16	鹿屋地区びわ部会	36	小さな宝物　郁	56	mami		
17	㈱鹿屋大隅地域おこし公社	37	中馬　吉昭	57	丸国屋		
18	㈱河本商店	38	土橋いちご園	58	㈲美姫商会		
19	株式会社カンネツ	39	坪水醸造㈱	59	moco-world		
20	北井ブルーベリー園	40	鶴田製茶	60	悠和会		

【団体会員】

No.	名　前
1	有限会社　カリヤ
2	有限会社　クリエイトファーム
3	㈲高山三幸観光
4	㈱アイロード
5	かのや緑化協同組合
6	株式会社ベルキャンバス
7	大海酒販株式会社
8	ミズホ商会

8団体

【友の会会員】

No.	名　前
1	釼持　朋彦
2	迫田 恵子
3	東　岩己

3名【50音順】

【ボランティア会員】

No.	名　前
1	加藤　優奈
2	加藤　祐樹
3	上谷田　幸奈
4	上谷田　真幸
5	上谷田　敏幸
6	上谷田　和幸

6名【50音順】

＊氏名の公表を望まない方は、事務局へお申し出ください。

資料２

特定非営利活動法人ローズリングかのや理事・監事・顧問等名簿

	役　　職	氏　　名	備　　考
1	理 事 長	尾 曲　伸 一	任期：H23.6.1～25.5.31
2	副理事長	萩 枝　文 子	任期：H23.6.1～25.5.31
3	副理事長	山 﨑　隆 夫	任期：H23.6.1～25.5.31
4	副理事長	原　田　　靖	任期：H23.6.1～25.5.31
5	専務理事	丸 野　里 美	任期：H23.6.1～25.5.31
6	理　　事	中 島　芳 美	任期：H23.6.1～25.5.31
7	理　　事	吉　原　　隆	任期：H23.6.1～25.5.31
8	理　　事	河原　多美子	任期：H23.6.1～25.5.31
9	理　　事	落司　ひとみ	任期：H23.6.1～25.5.31
10	理　　事	上谷田　浩幸	任期：H23.6.1～25.5.31
11	理　　事	末 弘　京 子	任期：H23.6.1～25.5.31
12	理　　事	河 原　彰 一	任期：H23.6.1～25.5.31
13	理　　事	近 藤　善 光	任期：H23.6.1～25.5.31
14	理　　事	鵜 瀬　芳 昭	任期：H23.6.1～25.5.31
15	理　　事	鵜 藤　哲夫	任期：H24.6.11～25.5.31
16	理　　事	鈴 木　三枝子	任期：H23.6.1～25.5.31
17	理　　事	宮 島　眞一	任期：H23.6.1～25.5.31
18	理　　事	徳 留　浩 二	任期：H23.6.1～25.5.31
19	理　　事	茶 円　まゆみ	任期：H23.6.1～25.5.31
20	理　　事	立 元　大	任期：H23.6.1～25.5.31
21	理　　事	東久保　英 昭	任期：H23.6.1～25.5.31
22	理　　事	竹 井　高 志	任期：H23.6.1～25.5.31
23	理　　事	大 重　竜 作	任期：H23.6.1～25.5.31
24	監　　事	早 川　雅 子	任期：H24.6.11～25.5.31
25	監　　事	鎌 田　浩 二	任期：H23.6.1～25.5.31
	顧　　問	坪 水　徳 郎	鹿屋市観光協会会長
	顧　　問	原 口　　泉	志學館大学人間関係学部教授
	アドバイザー	上 神　敦 子	中央大学理工キャリア支援課
	アドバイザー	ディビッド・Ｂ・サンダーソン	英国庭園デザイナー
	アドバイザー	養 父　信 夫	九州のムラたび応援団　団長

メ　モ

特定非営利活動法人ローズリングかのや

設 立 趣 意 書

21世紀は「環境の世紀」「食糧の世紀」「真の豊かさを求める時代」「本格的な少子高齢化社会」など様々な言葉で表現されますが、今までと違った価値の創造や新たな課題に直面していると思います。

地方分権や地域の自立が叫ばれる中で、スローライフ・スローフードに代表される世界的な新たなライフスタイルへの希求を考えるとき、今ほど地方に追い風が吹き、農村の豊かさを見つめ直す絶好の機会はないと確信しています。

鹿屋市では、いよいよ本年４月にかのやばら園がグランドオープンし、名実共に日本一を誇れるばら園が誕生します。環境に優しい栽培手法とその景観は世界に誇れるものだと言っても過言ではないと思います。また、１月１日には新市も誕生し、２００６年（平成１８年）は記念すべき年になると思います。

私共は、２００３年（平成１５年）の市民会議「ローズガーデンCityかのや」の誕生以来、昨年４月２３日には「ローズリングかのや」を設立し、今までばらのまちづくりのための様々な活動を進めてきました。この活動は市民がふるさとを誇りに思い、自分たちのまちづくりを自分たちの手で行うことが大切だと考えております。そのために、さらに自立した組織の確立と市民に認知され、愛される活動にすることが重要だと思います。

昨年４月２３日のローズリングかのや設立総会の際にも議決しましたが、特定非営利活動法人（NPO法人）として組織化するための準備を進めてまいりました。

この法人の最大の目的は『すばらしい地域資源を最大限に活用し、自らの活動と情報発信を通じて、地域の自立と住民の活力を呼びおこす「元気なばらのまちかのや」を創造すること。』にあります。単にばら園のグランドオープンのための活動をするだけではなく、自立した市民が行政との協働で幅広いまちづくりを進めることが大切です。

今、ばらのまちづくりに多くの団体や一人でも多くの市民の積極的な参画を呼びかけております。

２００６年（平成１８年）１月１３日

特定非営利活動法人ローズリングかのや

ローズリングかのやの目的は、・・・・

わがふるさとの文化、歴史を学び
新しい価値を創造し、住民が助け合い
地域が連携して活動する
コミュニケーションネットワークを通して
わくわく、ドキドキするような
魅力ある情報を発信し
実践的な活動を通して
次世代を支える地域のリーダーを育て
安全、安心で活力のある
心から住みたいと感じる
「元気なばらのまちかのや」
を創造することである。

特定非営利活動法人（NPO法人）ローズリングかのや
〒893-0053　鹿児島県鹿屋市浜田町1250番地
TEL：0994-41-8718　　FAX：0994-41-8719
E－Mail：　office@rosering. jp
http：//www. baranomachi. jp
http：//www. rosering. jp